

TR-I-0029

言語データベース用格・係り受け意味体系
Semantics Relations for the Language
Database

井ノ上 直己 小倉 健太郎 森元 暉
Naomi INOUE Kentarou OGURA
Tsuyoshi MORIMOTO

1988.8

概要

現在ATR自動翻訳電話研究所では、対話文、特に電話会話の翻訳を目標に研究を進めているが、そのためには話し言葉特有の各種言語現象を明らかにする必要がある。そこで、我々は翻訳方式の研究と並行して話し言葉を中心とした大規模な言語データベースの構築を進めている。また、この言語データベースから各種情報を取り出せるようにするために形態素解析や、格、係り受け解析を事前に行っておくこととしており、本報告ではこの格、係り受け解析で設定した意味体系を示すとともに格、係り受け解析を通じて問題となった点についてまとめて報告する。また、EDRで設定している意味体系との対応も示した。

ATR Interpreting Telephony Research Laboratories
ATR 自動翻訳電話研究所

第1部 総論

1. はじめに
2. 言語データベースにおける格、係り受け関係のとらえかた
 - 2.1 格のとらえかた
 - 2.2 係り受け関係のとらえかた
3. 格、係り受け関係データ
 - 3.1 構文関係
 - 3.2 意味関係
4. 格、係り受け解析における問題点
 - 4.1 格の認定
 - 4.1.1 擬人化表現時の主語に対する格の認定
 - 4.1.2 任意格成分の認定
 - 4.2 格要素の認定
 - 4.2.1 同一概念の認定
 - 4.2.2 目的補語構文と埋めこみ文構文の認定
 - 4.3 係り受け関係の認定
 - 4.3.1 動作概念の認定
 - 4.3.2 係り受け構文の認定
5. EDR体系との対応
6. おわりに

謝辞

参考文献

第2部 格関係詳細

第3部 係り受け関係詳細

第1部 総論

1. はじめに

現在我々は、日本語の持つ言語現象を明らかにする上で必要となる各種の基礎データを収集した大規模な言語データベースの構築を目指している^{[1],[2],[3]}。そして、格、係り受け関係は、人間が文を理解する際に無意識にとらえていると思われる文節間の意味関係を記述できるために、文の意味を捉える上で有効なデータと考えられ言語データベースにその情報を記述する必要がある。

しかし、格、係り受け関係については従来より様々な意味体系が提案されており^{[4],[5],[6]}、格、係り受け関係をとらえる立場が異なれば異なっただけ意味体系が存在しているのが現状である。

そこで、本報告では、まず今回行った格、係り受け解析ではどのような立場から格、係り受け関係を設定したかを示し、格、係り受け解析を通じて問題となった点をまとめて示す^m。さらに5章ではEDRで設定している意味体系との対応を示した。

第2部、第3部には新聞記事、雑誌、論説文および模擬実験を行い収集した電話会話文、キーボード会話文の5種類約3万語を対象に設定した意味体系を詳しく示す。

2. 言語データベースにおける格、係り受け関係のとらえかた

言語データベースが高品質な翻訳システム作成のための有効な情報を提供するツールとして寄与するためには多量なデータに対しこれらの分析をいかに均質に行うかが問題である。

そのため、今回行った格、係り受け解析では、データを均質に付与するという観点から人間の直感にマッチしやすい立場から意味関係をとらえた。以下に格、係り受け関係のとらえかたを示す。

2.1 格のとらえかた

従来から論じられてきた深層格は以下の例文に見られるように現実世界において同一の役割を担っているものに対し、同じ格を付与し統語構造に関係なく深層のレベルでその文の意味構造を一意に規定するという立場からである。

- (1) 窓は 風で 開いた。

[obj] [cause]

- (2) 風が 窓を 開けた。

[cause] [obj]

ここで、 obj : 対象格、cause : 原因格

しかし、(1)、(2)の文では発話者の「風」に対する把握の仕方が異なっているため(2)では「風」が主語になっている。深層格には以下の例に示すようにこのような発話者の把握の仕方の違いを規定するという立場もある。

- (3) 風が 窓を 開けた。

[agt] [obj] agt : 動作主格

ここでは、発話者のその事象に対する把握の仕方の違いをとらえ、

A. 人間の認識過程を考慮した意味関係をとらえるという立場(すなわち(3)のように深層格を付与する立場)

から深層格を記述してみた。

2.2 係り受け関係のとらえかた

また、係り受け関係(関係節文や「AのB」といった連体修飾関係)に対しては図1に示すように、

B. 被修飾語や「AのB」のうちの一方の名詞が格要素となり格関係で意味が記述できる場合(例:「太郎の勉強」、「太郎が読んだ本」)

C. 属性、所有関係あるいは同格関係等のような格関係で表せない場合(例:「水の温度」、「アメリカへ行く夢」)

に大別して、意味関係をとらえる。

3 格、係り受け関係データ

格、係り受け関係をとらえるために、意味上の修飾・被修飾関係および構文上の修飾・被修飾関係の2通りを格・係り受け関係データに記述した。

3.1 構文関係

構文関係として以下の6通り設定し、構文上の係り受け関係を示した。

- (1)述語と格要素との関係にある構文
- (2)「AのB」表現で示される連体修飾構文
- (3)関係節で示される連体修飾構文
- (4)連用修飾構文
- (5)文全体を修飾する構文
- (6)「AのB」表現で示されるが意味上はBがAを修飾する構文

3.2 意味関係

意味関係については63種類に分類した。一覧表を表1に示す。格、係り受け意味体系の詳細については第2部、第3部に示す。

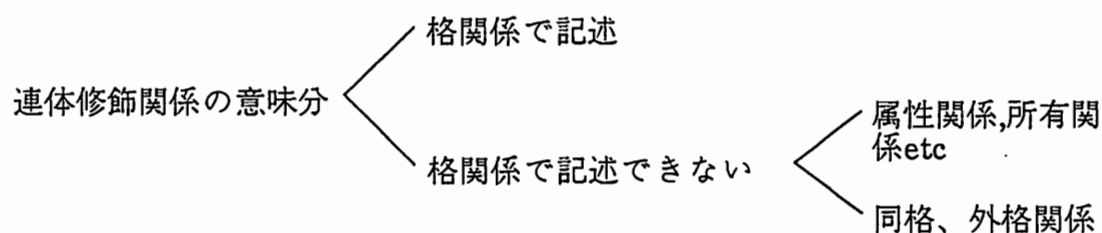


図1 係り受け関係の意味分類

4. 格、係り受け解析における問題点

以下に格、係り受け関係を付与する作業を通じて問題となった点を示す。

4.1 格の認定

人間の認識過程を考慮して意味関係を記述するという立場からは、どのような格を付与すべきかが問題になる。以下にこのような例を示す。

4.1.1 擬人化表現時の主語に対する格の認定

(1) 「ブルジョア自由主義」に反対する総ががりのキャンペーンは徐々に効き目を表した。

(2) 十四日付の中国全土の新聞は第一面に、党中央理論紙『紅旗』の論文を事前に掲載した。

上記の例文はいずれも無生物が他動詞の主語となっている。また、いずれの主語も背後に人間が存在するを感じさせており一種の擬人化表現がとられているが、(1)の文では「表す」にかかわって自動詞「表れる」を用いた(3)のような表現でとらえることもできないことはないことから、(1)と(2)には人間の介在している程度の認識に違いが認められるように思われる。

(3) 「ブルジョア自由主義」に反対する総ががりのなキャンペーンの効き目が表われた。

しかし、「キャンペーン」は格助詞「は」でマークされた表現になっており、「ブルジョア自由主義」に反対するという「キャンペーン」に主題をおいていることを考えると(1)を(3)の表現でとらえる方法がいちがいに良いともいえない。

そのため、「キャンペーン」を(2)の例文にでてきた「新聞」とは区別した格を付与する方法を採用した。

4.1.2 任意格成分の認定

格助詞「で」、「に」、「から」等でマークされた名詞句に対して、どのような格を付与するかが問題となる。実際に格の認定が困難であった例を以下に示す。

(4) A:登録用紙は既にお持ちですか。

B:いいえ、まだです。

A:それでは、こちらからお送りします。(場所、与え手)

(5) 期限のほうですが、今年いっぱいになっている。(時間、終状態)

(6) 先程の住所にお送りする。(場所、受け手)

上記の例からも分かる通り人間が文の意味を解釈する過程では意味が一意にきまらない場合がある。従って、このように意味が一意に決めることができない場合には複数の意味関係を付与した。

4.2 格要素の認定

以下にその例を示すように、格要素としてどのようなものを認めるかが問題になった。

4.2.1 同一概念の認定

通常格関係は表層上の格助詞をマーカとして付与されるが、以下の(7)、(8)に示されるような文に対しては同じ意味として解釈されるにもかかわらず異なった意味関係が付与されるという問題がある。

(7) 私は その犬に ポチと 名前を つけた。

[agt] [rec] [nom] [obj]

(8) 私は その犬を ポチと 名づけた。

[agt] [obj] [nom]

ここで、rec：受け手格、nom：ある対象をidentifyする名称を与える格

上記の例文には、「名前をつける」を一つの動詞句と認めるか、「名づける」内部の意味関係をとらえるかを行う必要がある。

4.2.2 目的格補語構文と埋めこみ文構文の認定

以下に示されるような目的格補語構文(「～を～と」で表現される)と埋めこみ文を用いた表現では、同じ意味に解釈される文でも異なった格関係が付与されるという問題がある。そのため、このような構文のとらえかた統一する必要がある。

(9) 私は彼を医者と見なす。

(10) 私は彼が医者だと見なす。

(11) 私は彼を医者と思う。

(12) 私は彼が医者だと思う。

また、(8)のように目的格補語構文しかとらず、埋めこみ文表現は非文となるような例もある。そこで、このような構文に対して格関係を付与する際、認識、思考動詞に対しては埋めこみ文構文でとらえ、ある対象に名称を与えるような動詞、例えば「名づける」、「(名前を)つける」等に対しては目的格補語構文でとらえるという基準を設け格関係を付与した。

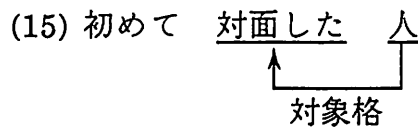
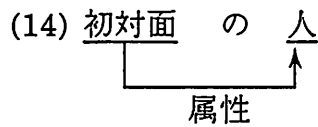
4.3 係り受け関係の認定

係り受け意味関係に対して問題となる点を以下に示す。

4.3.1 動作概念の認定

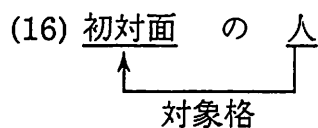
(13) 初対面の人にいきなりお腹がすいているかと聞かれ、…

上記の例文中の表現「初対面の人」は同じ概念を表す「初めて対面した人」という関係節構文でも意味関係を捉えることが可能であるが、どちらの構文構造で意味関係を捉えるかによって意味関係が異なる場合がある。



(15)では「人」は動詞「対面する」の格になっているが、(14)ではもともとサ変名詞であった「対面」に「初」がつき複合名詞化することで動作的な概念がうすれたと考えられ「初対面」が「人」に対して広範囲の意味での性質あるいは属性を規定しているとも解釈できる。

一方、「初対面」という名詞はサ変名詞「対面」と同様に動作概念を表すと考え(16)に示すように(15)と同じ意味関係を付与することも可能である。



すなわち、「AのB」構文の意味関係を記述する場合動作的概念をどこまで認めるかの判断基準を明確にする必要がある。

4.3.2 係り受け構文の認定

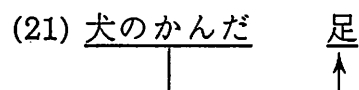
(17) 犬のかんだ足。

(18) 部屋のこわれたドア。

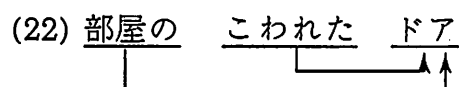
(19) 私のけがした足。

(20) 私のなくした妻。

上記の例文に対し、意味関係を記述する場合、(17)の例では通常では(21)のように格助詞「が」が「の」に置き換わったと考えて埋めこみ文の構文でとらえられが、

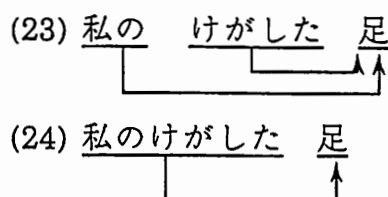


(18)の例では「部屋のドア」であって、「(部屋のこわれた)ドア」という構文ではとらえられないため、(18)に対しては以下のような構文で意味関係を記述することになる。



また、(19)の例では「けがした」という動詞から「私」と「足」の関係(全体一部分関係)が推論されるため両方の構文でとらえることができる。

同様に(20)も両方の構文でとらえることができるが、これは「私」と「妻」に所有(?)関係が成り立つためと思われる。



従って、係り受け意味関係を記述する際にはこれらの構文のとらえかたを区別する基準を明らかにする必要がある。

5.EDR体系との対応

EDRでは常識としてなりたつ事象および知識を単語の持つ概念間の関係として記述するための意味体系を作成している。

我々の設定した格、係り受け意味体系は表現された文を理解する上で、人間が単語間の関係をどのように解釈しているかを記述するという観点から設定したものであり、常識としてなりたつ事象および知識といったスタティックな関係を記述するという観点から設定したものではないため、EDRの意味体系と比較すると我々の設定した意味関係はかなり細分化されたものとなっている。両者の意味体系を比較することは意味体系を設定した観点が異なる上、各意味関係が表す範囲が異なるために、容易なことではないが、表2にEDRの設定している意味関係に対応する格、係り受け意味関係を示す。

6.おわりに

本報告では人間の認識過程を考慮して意味関係を記述するという立場から、格、係り受け体系を作成した。また、格、係り受け解析を通じて、どのような格を付与すべきかの判断が困難なこと、何を格要素として認めるかを定めるための明確な基準が必要なこと、さらに複合語の示す概念の認識や係り受け構文の認定が必要なことを示した。

今後はこれらの問題点を解決できるように明確な基準を設けて言語データベースを構築していく予定である。

謝辞

本研究の機会を与えてくださるとともに適切な助言を述べられたATR自動翻訳電話研究所 樽松 明 社長、に感謝します。また熱心に討論して下さいったデータ処理研究室及びMCワードセンターの諸氏に感謝します。

参考文献

- [1]森元、小倉、飯田：「自動翻訳電話研究用データベースの収集について」、情報処理学会第36回全国大会4U-5(1988)
- [2]小倉、篠崎、森元：「言語データベース収集支援システム」、情報処理学会第36回全国大会4U-4(1988)
- [3]篠崎、小倉、森元：「言語データベースの品質管理」、情報処理学会第36回全国大会4U-3(1988)
- [4]長尾、辻井他：「科学技術庁機械翻訳プロジェクトの概要」、情報処理、Vol.26、

No.10(1985)

[5] 田中、船城訳「格文法の原理－言語の意味と構造－」、三省堂

[6] 島津、内藤、野村「日本語文意味構造の分類-名詞句構造を中心に」、情報処理学会自然言語研究会NL47-4(1985)

[7] 井ノ上、小倉、森元「係り受け意味関係の問題点とその考察」、電子情報通信学会言語処理とコミュニケーション研究会NLC87-25(1987)

表1 格、係り受けコード一覧表

#	コード名	意味	定義	例
1	AGT	動作主	意志的行為において出来事、事象を引き起こす主体	01 宏が勉強する 02 太郎 の 勉強 03 勉強した 太郎
2	UVA	無意志動作主	意志動詞[ivo]の主語で、無意志主体	01 コンピュータが文を翻訳する 02 計算機 の 処理 03 間違って処理した 計算機
3	UVS	無意志主体	OBJを取る用言に対する、意志性のない主体	01 太陽は、地球を照らす 02 (悪貨による)良貨の駆逐 03 良貨を駆逐した 悪貨
4	OBJ	対象	動作、作用、創造、精神活動、経験、性状描写、存在、所有などの対象	01 川が流れる 02 言語 の 観察 03 ナイフで切った メロン
5	EXP	経験者	感覚的、心理的な経験をする主体、能力の所有者	01 私は悲しい、私にも写せます、彼女は雨に降られた 02 先生 の 悲しみ 03 足を けがした 犬
6	REC	受け手	授与、奪取、伝達表現で、物、情報、権利の移動における受け手	01 私が陽子に真実を教える 02 民間 への 貸与 03 私が数学を教えた 生徒
7	ORG	与え手	授与、奪取、伝達表現で、物、情報、権利の移動における与え手	01 先生に教わる、習う 02 サラ金 からの 借金 03 強盗が金を奪った 銀行
8	PRT	相手1	主体、対象に対する相手で、主として対称用言と共に起る。	01 友人と出会う 02 実験値 との 一致 03 昨日、私が会った 人
9	ACC	随伴	"と共に、と一緒に"の意味の任意格	01 兄と出かける 02 クラスメイト との 旅 03 アメリカへ一緒にいった 友人
10	OPP	相手2	追ざかりたい相手	01 事故から設備を守る 02 フランス からの 独立 03 弘の逃れた 敵軍
11	TMA	時点	動作、状態の生起する時点を、用言の時間的背景として表出する。 "いつ...? いつまでに...?"に対する回答	01 会社が6時に終る 02 明日 の 日本 03 父が食事する 朝8時 04 まもなく
12	TMF	時、起点	時間の起点。"いつから...?"に対する回答	01 8時から食事する 02 今年 からの プロジェクト 04 帰って から、
13	TMT	時、終点	時間の終点。"いつまで....?"に対する回答	01 5時まで働く 02 今日 までの 主流 04 父が帰るまで
14	TMD	時、継続	動作、状態に対する幅を持った時間を、用言の時間的背景として表出する。 継続相の用言と共に起ることが多い	01 3時間勉強する 02 5分間の加熱 03 サラリーマンをやった5年間
15	SPA	場所	存在、状態、動作の場所 "どこで(に)...?"に対する答え	01 部屋にいる 02 ワシントン の 裁判所 03 母の生まれた 東京
16	SPF	場所、起点	移動の起点、出発点。"どこから(を)..."の答え	01 東京から逃げる、を去る 02 アメリカ からの 帰国 03 父の去った 故郷
17	SPT	場所、終点	移動の方向、到着点。"どこへ(まで、に、を)..."の答え	01 船は函館に向かう 02 空港 への 到着、上方 への 動き 03 不時着した アラスカ空港

18	S P R	場 所 通 道	移動における通過場所、通過経路	01 国境を越える 02 東京上空の飛行 03 通り抜けた森
19	S R C	状態変 化の始 点	変化動詞と共に起して状態変化の始点を表す	01 助手から講師になる 02 50,000円からの値上げ 03 そこから立ち直った荒廃
20	G O A	状態変 化の終 点	変化動詞と共に起して状態変化の終点を表す	01 芋虫が蛾になる 02 フランス語への翻訳 03 水が変化した水蒸気 04 部屋が暗くなる
21	C A U	原 因 理 由	原因、理由、動機を示す格、自然・生理・社会現象、事象動作名詞など	01 病気で悩む 02 バイク事故の骨折 03 会議を欠席した電車事故
22	T O O	道 具 手 段	道具、手段、方法を表す格で、背後に"道具"を使う人が存在	01 フルーツで演奏する 02 機械の翻訳 03 メロンを切ったナイフ 04 バスに乗って、(行く)
23	M A T	材 料	材料、構成要素	01 砂で城を作る 02 木の机 03 寺を建てた杉の木
24	M A N	方 式 様 態	動作、過程、変化、活動、状態の様態、方法。"どの様に(how)"	01 カードをアルファベット順に調べる 02 アナログ式での記憶 03 データを処理した例の方法 04 はやく(走る)
25	C N D	条 件	条件、主題が成立するための制限条件	01 2時間で到着する 02 特殊条件下の解析 04 然すると
26	P R P	目 的	動作の目的、物の用途	01 買物に出かける 02 客寄せの愛嬌 03 核兵器を使ってはならない戦争 04 研究すべく訪米した
27	R O L	役 割	状態、資格を表す	01 御歳暮にウイスキーを贈る 02 教師としての自覚
28	R N G	範囲規 定、関 係	用言の及ぶ範囲、関係を規定	01 日本が天然資源に乏しい 02 教育の問題 03 鼻が長い象
29	D G R	程 度	変化、移動、状態、動作の量、程度、数量規定、頻度	01 体重を3キロ減らす 02 三パーセントの値上げ 03 太郎が泳いだ3km 04 きわめて
30	P R D	陳 述	"だ文"における"だ"の直前の項	01 ボチは犬だ 勤務時間は9時から18時までです
31	C O R	比 較	比較、優劣の基準となる対象	01 云は陽子より背が高い 03 弘が彼らより背の高い人々
32	T O P	話題提 示	<は>を伴う項は、深層の格をつけ、更にTOPをつける	01 私は頭がいたい [I?/10?
33	N O M	命 名	命名動詞のト格	01 犬をボチと呼ぶ 02 ボチとの命名 03 ギリシャ人が言う パルパロイ
34	C O N	内 容	認識、思考、判断、発言(引用句)の内容を表す埋め込み文	01 [彼を医者]と認める、[スキーがし]たい 02 アメリカへ行った夢、訪米の夢
35	E V A	価値判 断	節全体を修飾し、話者の価値判断を示す。(文修飾の運用成分)	01 さいわい、よい天気だった 05 おいにく
36	C N C	譲 歩	譲歩、逆節を示す運用修飾成分	01 抵抗したところで、勝てはしない 04 もっと苦くても 05 お忙しいでしょうが
37	A D D	追 加	付け足し、追加を示す運用修飾成分	01 金利が下がる上に、丸優が廃止された

38	C I R	付帯状況	付帯状況の表示	01 靴下のまま、寝る・うす笑いで聞き返す 04 泣きながら
39	V I E	観 点	思考動詞、発言動詞としばしば共起し その観点を表示する	01 経済面から判断する 02 経営面 からの 注意点 03 数学的な 正確さ
40	S E L	選 択	選択の範囲、対象	02 新入社員 の 大半、社員の内 の 半数
41	E X M	例 示	具体的な例を表出。一般にE X Mは 被修飾語句の下位概念	02 形、色など の 属性
42	P O S	所有者	所有する有意志主体	02 太郎 の 本、学級 の 花壇、父 の 東京
43	A U T	作成者	"作り出す"主体。作成者、発明者、 主催者を含み、'作る'動詞が隠在する	02 正宗 の 名刀、ピタゴラス の 定 理
44	A P P	同 格	同じ指示物の異なる表現	02 アメリカ大統領 の レーガン
45	W H L	全 体	部分に対する全体	02 犬 の 足
46	P A R	部 分	全体に対する部分	02 青い目 の 外人、端正な顔立ち の 母
47	R E L	関係の 基準	相対名詞を規定する基準	02 家 の 前、池 の 中、私 の 兄
48	D L M	限 定	連体詞、指示詞などの限定表現	02 そんな 人
49	A V O	対象属 性値	属性値+対象	02 二十度の 水、円筒形 の 誘導体
50	A T T	属 性	属性+対象	02 (二十度の)温度 の 水
51	O A T	属性対 象	対象+属性	02 水 の 温度
52	V A L	属性値	属性値+属性	02 20度C の 温度、茶色 の 色
53	M E S	比喩実 体	実体+比喩	02 人 の 波、荷物 の 山
54	M E T	比 喩	比喩+実体 K1の様なK2	02 炎 の 女、氷 の 唇
55	G A I	外 格	連体修飾部(埋め込み文)の用言の格 をなさない連体被修飾語句	03 魚が焼ける 臭い
56	C M P	補文標 識	埋め込み文、形容詞、形容動詞を名詞 化する形式名詞	03 ライオンが強い こと
57	P M C	準補文 標識	N Pに対して上位のN Pを形成する 形式名詞	02 甘えの <u>こと</u> (を問題にする) もう一つの <u>ほう</u> (がよい)
58	I N S	挿 入	コンマ、ハイフン、括弧にかこまれた 説明、注釈的部分	02 茶の湯の修行(<u>とても厳しかった</u>)が 終わり
59	P R L	並 列	節と節の並列関係、同時性、対比、 継起、列挙などを表出する	04 安く、美味しい 03 男がピアノを弾いて、女が歌った
60	O R R	選 言	二つ以上の項から一つを選択するとき の、項同志の択一関係	04 お茶を飲むか、牛乳を飲む
61	C N E	連 接	文、節などを結ぶ接続詞的副詞および 'とりたて'の副詞	04 結局、 02 <u>とくに</u> [この品物]が高い
62	A D P	副 助	副助詞的な'名詞(4)'の直前に来る 名詞に付ける	02 10日ばかり
63	O T H	その他	その他	

表2 EDR意味関係と格係り受け意味関係との比較

EDR意味体系		格係り受け関係
格関係子		
agent	有意志動作においてその事象を引き起こすもの	AGT、UVA
object	属性に対する対象物	OBJ、UVS
manner	動作、変化のやり方	MAN
implement	有意志動作における道具、手段	TOO
material	材料または構成要素	MAT
time	事象が起こった時間	TMA
time-from	事象の始点	TMF
time-to	事象の終点	TMT
location	動作の対象となる場所	SPA、SPR
place	事象の成立する場所	SPA、SPR
source	事象の成立する、主体または対象の最初の位置	ORG、SRC
goal	事象の成立する、主体または対象の最後の位置	REC、GOA
duration	事象の起こる期間	TMD
事象間関係子		
condition	ある事象の起こるときの条件	CND
cooccurrence	同時の事象	PRL
sequence	事象の前後関係	(CAU)、(PRP)注1
conjunction	事象間の関係が不明確な関係	なし
disjunction	事象間の二者択一の関係	ORR
意味関係子		
part of	全体の部分	PAR
element of	集合体の一要素	PAR
equivalent	同義	なし
similar	類義	なし
supc	上位一下位	なし
制限関係子		
role	行為の主体の役割	ROL
frequency	事象の起こる頻度	DGR
comparison	比較の基準	COR
unit	単位	なし
quant	量	DGR,AVO,VAL
number	数	DGR,AVO,VAL
modify	その他の修飾関係	注2
仮関係子		
possessor	所有関係	POS
purpose	事象の目的	PRP
basis	事象の基準	REL
degree	動作、変化の程度	DGR
and	概念間の連結関係	なし
or	概念間の選択関係	なし

ここで、格、係り受け関係は表1に示したコードを用いた。

注1 "事象の前後関係"として"原因、理由"および"目的"関係が含まれると思われる。

注2 その他の修飾関係"としてはSEL、EXM、AUT、APP、WHL、ATT、OAT、MES、METが対応する。

第2部 格関係詳細

目 次		page
1. AGT	(AGENT)	3
2. UVA	(UNVOLITIONAL AGENT)	3
3. UVS	(UNVOLITIONAL SUBJECT)	4
4. OBJ	(OBJECT)	5
5. EXP	(EXPERIENCER)	7
6. REC	(RECIPIENT)	8
7. ORG	(ORIGINATOR)	9
8. PRT	(PARTNER)	10
9. ACC	(ACCOMPANY)	11
10. OPP	(OPPONENT)	11
11. TMA	(TIME-AT)	12
12. TMF	(TIME-FROM)	13
13. TMT	(TIME-TO)	13
14. TMD	(TIME-DURATION)	14
15. SPA	(SPACE-AT)	14
16. SPF	(SPACE-FROM)	16
17. SPT	(SPACE-TO)	16
18. SPR	(SPACE-THROUGH)	17
19. SRC	(SOURCE)	18
20. GOA	(GOAL)	18
21. CAU	(CAUSE)	20
22. TOO	(TOOL)	20
23. MAT	(MATERIAL)	21
24. MAN	(MANNER)	21
25. CND	(CONDITION)	22
26. PRP	(PURPOSE)	24
27. ROL	(ROLE)	24
28. RNG	(RANGE)	24
29. DGR	(DEGREE)	26
30. PRD	(PREDICATIVE)	27
31. COR	(COMPARISON)	27
32. TOP	(TOPIC)	28
33. NOM	(NOMINATION)	28
34. CON	(CONTENT)	28
35. EVA	(EVALUATE)	30
36. CNC	(CONCESSION)	30
37. ADD	(ADDITION)	30

格コード

注：下記の例は、文脈により不適当なことがありうる。コード付与作業の原則は、常に “ 文脈依存 ” である。

1. AGT (AGENT) (動作主)

定義：意志的行為において出来事、事象を引き起こす主体

用言：+vol 項：+anim 表層形：が、の、に、から、より

能動タイプ

が	宏が勉強する	[AGT]
	ポチが走る	[AGT]
の	私の住む（町）	[AGT]
で	仲間で本を出版する	[AGT, OBJ]
	それは、私でなんとかいたします	[OBJ/TOP, AGT]
	警察で 調べた	[AGT]

受動タイプ

に	アベルは、カインに殺された。	[OBJ, AGT]
から	陽子から絶交された	[AGT]
より	教授より指摘された（問題点）	[AGT]

注1：下記は、AGTではなく、ORGとする。ただしORGよりAGTが強く出ている文脈では、“ 文脈依存の原則 ” により AGTとする。

から	私から手紙を書く	[ORG, OBJ]
より	私より電話しておく	[ORG]

拡大解釈 警察に捕まる [AGT]

注2：“ 捕まる ” は意志動詞ではないが、“ 警察に捕らえられる ” と考えて、AGTとする。

注3：“ によって ” … 寺は高僧によって建てられた。
この文で、“ よっ ” は現在、用言と考える

2. UVA (UNVOLITIONAL AGENT) (無意志動作主)

定義：意志動詞[+vol]の主語で、無意志主体

用言：+vol 項：-anim 表層形：が、に（ “ が ” の受身相当）

が	鉄腕アトムが空を飛ぶ	[UVA, SPR]
	車が汽車を追い越す	[UVA, OBJ]
	コンピュータが文を翻訳する	[UVA, OBJ]
	14日付けの朝日新聞が…の記事をのせた	[UVA, OBJ]
	孤立感が私の神経を襲う	[UVA, OBJ]
	汗が私に勇気を与えた	[UVA, REC, OBJ]

	朝日新聞が 報告している	[UVA] 注2
	デモが 要求する (賃上げ)	[UVA]
	ニュースが 非難する	[UVA]
に	良心のかしゃくに むちうたれ、	[UVA]
	雑事に追われる	[UVA]
から	すべてから 取り残され	[UVA]
自動詞	言葉が飛び出した	[UVS]
	心がどこに行ったのか	[UVA, SPT]

注1: ガ格およびその受身のニ格以外には表れない。ただし、UVA以外に
主語となりうる格(補足の1)のあるときは、それを優先的に使う。

#鍵がドアを開ける	[T00, OBJ]
#鍵でドアを開ける	[T00, OBJ]
#地震が多数の人を殺す	[CAU, OBJ]
#地震で多くの人が死ぬ	[CAU, OBJ]

注2. 朝日新聞が 報告している [UVA]
朝日新聞社が 報告している [AGT]
上の文では、UVAが擬人化されているが、下の文で
”朝日新聞社”は ”有意志組織体”であり、擬人化は
感じられない。

3. UVS (UNVOLITIONAL SUBJECT) (無意志主体)

定義: OBJを取る用言に対する、意志性のない主体

用言: 他動詞、-vol 項: -anim 表層形: が

が	デモが、予想外の展開をみせた	[UVS, OBJ]
	外来植物が、原産植物を駆逐した	[UVS, OBJ]
	悪貨が良貨を駆逐する	[UVS, OBJ]
	チューリップが、うつくしい花を見せている。	[UVS, OBJ]
	太陽は、地球を照らす	[UVS/TOP, OBJ]
	陽子の態度が心変わりを意味する	[UVS, OBJ]
	鳩が平和を象徴する	[UVS, OBJ]
	党員が軟弱ぶりを見せた	[UVS, OBJ]
	自由化とは...の観念をさす	[UVS, OBJ]
	この解釈は、...を示唆する	[UVS/TOP, OBJ]
	政党の多くがマルクス離れを起こす	[UVS, OBJ]
	(-anim. と解釈出来る)	
	一部の党員が軟弱な態度を示す	[UVS, OBJ]
	(-anim. と解釈出来る)	
	キャンペーンが行き過ぎを繰り返す	[UVS, OBJ]
に	地球は太陽に <u>照ら</u> される	[OBJ/TOP, UVS]

美しさに心が奪われる	[UVS, OBJ]
性能が技術に依存する	[UVS, OBJ]cf. 注1
証拠に裏付けられた(報道)	[UVS, 03OBJ]

注：1. いわゆる”他動詞”ではないが、OBJをとる例

2. ”太陽が照らしている”は、OBJが省略されていると考えて
UVSとする。

3. UVSは、OBJの衝突をさけるために設けられた格であるから、
OBJの衝突がなければ、できるだけ他の格を使う。

その雰囲気	が	自治体	を	窒息	させる	[CAU, OBJ]
経済効率	が	思想	に	優先	する	[OBJ, COR]
騒ぎ	が	影響	を	及ぼす		[CAU, OBJ]
鍵	が	ドア	を	開ける		[TOO, OBJ]
船	が	砂利	を	運ぶ		[TOO, OBJ]

4. OBJ (OBJECT) (対象)

定義：動作、作用、創造、授与、精神活動、経験、性状描写、存在、
所有などの対象

a. 動作、作用、創造、授与、精神活動、経験などの対象

”他動詞の目的語” 表層格：を、に

を	彼が宏を殴った	[AGT, OBJ]
	政府が計画を変更する	[AGT, OBJ]
	母が飯をつくる、炊く	[AGT, OBJ]
	太郎が父に本をあげる	[AGT, REC, OBJ]
	事件を考える	[OBJ]
	日食を観察する	[OBJ]
	人生の苦を体験する	[OBJ]
	父が余生を送る	[AGT, OBJ]
	宏が(陽子が話すの)を聞く	[AGT, OBJ] cf. 注2
	宏が(陽子の話すの)を聞く	[AGT, OBJ]
	#私が彼の話聞く	[AGT, OBJ]

注1：補文標識”の” ”こと”のあるときの埋め込み文(S + NP)

OBJは、いつも名詞性(一般取り決め事項を参照)があると考え
01OBJとする。 cf. 注3

0	お水少し頂けません	[OBJ, 04DGR]
	(但し、"少し"は副詞のため、連用修飾04)	
	<u>それが何だか</u> 、もう忘れた	[OBJ]
	<u>誰を推挙してよいか</u> 分からない	[OBJ] 注3
に	法案に賛成する	[OBJ]
	宏が裏切りに気付く	[EXP, OBJ]

宏が陽子に憧れる	[EXP, OBJ]
都市が迫害に耐えた	[EXP, OBJ]
おやつは、お菓子に決めた	[RNG/TOP, OBJ]
選手が記録に挑む	[AGT, OBJ]
タクシーに乗る	[OBJ]
風呂に入る	[SPA, SPT]
流行に乗る、乗り遅れる	[OBJ]
高橋刑事が事件に着手する	[AGT, OBJ]
太郎が事故に対処する	[AGT, OBJ]
乗組員がSOSに応答する	[AGT, OBJ]
苦勞に耐える	[OBJ]
発表することに決めた	[OBJ]* (c. f. 注1)
裾が、手に触れる	[OBJ, PRT]
会議に参加する	[OBJ]
言語に習熟する	[OBJ]
おこぼれにありつく	[OBJ]
豊臣家にまつわる (文化財)	[OBJ、(03UVS)]
性能は技術に依存する	[UVS/TOP, OBJ]
論文が、その点に言及する	[UVS, OBJ]
子供は期待に応えた	[AGT, OBJ]

注2: OBJの”=”格は、原則として必須格である

注3 連体形の埋め込み文

下線部の埋め込み文はNPではないが、連体形 (終止形と同形) であれば、”名詞性”があると考え01OBJとする。

注4. 連体形以外の埋め込み文

埋め込み文うち、下記のように、連体形 (終止形と同型) 以外で終るものは、助動詞の”内容”と考えて CONとする。CONは、OBJの特殊な範疇である。CONを参照

私は、(スキーがし)たい	[EXP/TOP, CON]
宏は、陽子に(犬を散歩さ)せる	[AGT/TOP, EXP, CON]

b. 無意志動詞の主体 性情描写、存在、所有などの対象

用言: -vol 自動詞 表層格: が

が	川が流れる	[OBJ]
	物価が下がる	[OBJ]
	宏が病気になる	[OBJ, GOA]
	天気が良い	[OBJ]
	犀がいるぞ	[OBJ]
	太郎が転んだ	[OBJ]
	分かることが大切だ	[OBJ]

	7時から8時までが問題だ	[OBJ]
	選挙に至るまでが大変だ	[OBJ]
0	興味 ある (問題)	[OBJ, (03RNG)]
	光栄 ある (担い手)	[OBJ, (03RNG)]
	(但し "ある" 32 "興味、光栄" 4)	

c. 可能動詞、が(ニ)...が...形

宏に英語が話せる (可能動詞)	[EXP, OBJ]
ポチが <u>チーズ</u> が好きだ	[EXP, OBJ]

d. 数量表現

を	苦しかった三時間を 泳ぎきった
	楽しかった三年(間)を 過ごす

cf. DGR, TMDの注

5. EXP (EXPERIENCER) (経験者)

定義: 用言[-vol] 項 [+anim]

表層格: が、に、を

a. 感覚的、心理的な経験をする主体

私は悲しい、悲しむ、喜ぶ、怒る	[EXP/TOP]
彼女が足が痛い	[EXP, OBJ]
先生が蛇にびっくりする	[EXP, CAU]
ニュースは宏を驚かせる、混乱させる	[CAU/TOP, EXP]
大地がめざめると、	[EXP] (擬人)
私はお腹がすいた	[EXP/TOP, OBJ]
私は、人生に納得がいく	[EXP/TOP, RNG, OBJ]
私は、能に関心があった	[EXP/TOP, RNG, OBJ]
私には、(弘が青ざめて) 見える	[EXP, CON]
彼に一抹の不安があった	[EXP, OBJ]
彼には、期待があった	[EXP, OBJ]
弘にお金が必要だ	[EXP, OBJ]
弘は、金をなくした	[EXP/TOP, OBJ]

b. 用言によって、直接間接に利害関係、影響を受ける有情の格で、
補文をとる助動詞の類と共起する主体
(自由格としての"受益者格"を含む)

彼女が(雨に降ら)れた	[EXP, CON]
私は、(先生に本を取って) もらう	[EXP/TOP, CON]
私は、弟に(犬を散歩さ)せる	[AGT/TOP, EXP, CON]
私は 犬に(散歩さ)せる	[AGT/TOP, EXP, CON]
弘は、(スキーに行き)たがる、たい	[EXP/TOP, CON]

c. 能力の所有者

彼が音楽がわかる (こと)	[EXP, OBJ]
彼に英語がわかる	[EXP, OBJ]
私にも写せます	[EXP]

参考: [EXP, CAU], [EXP, OBJ]が基本的なパターンである。

太郎が息子の誕生を喜ぶ	[EXP, OBJ]
弘が裏切りに気付く	[EXP, OBJ]
私が彼の裏切りに気をとめる	[EXP, RNG, OBJ]
陽子が判決に怒る	[EXP, CAU]
佐藤君がルーベンスの絵に感動した	[EXP, CAU]

6. REC (RECIPIENT) (受け手)

ORGと対

定義: 授与、奪取、伝達表現で、物、情報、権利の移動における受け手

用言: 典型的に授与動詞、発言動詞、要求動詞

RECは、原則として、授与、奪取、発言行為にたいして許諾、拒絶などの意志が期待できる。(注2)

に 授与動詞

私が陽子に 真実を教える	[AGT, REC, OBJ] cf. 注1
息子に 貸す	[REC]
作品に 手を加える	[REC, OBJ]
銀行に 預ける	[REC]

発言動詞

陽子に 言う、命じる	[REC]
彼女に感謝した、約束した	[REC]

へ 陽子へ 手紙を出す [REC, OBJ]

注1: REC と ORGは、主語にたたない。”主語”がdual caseのばあい、他の格を主語にあてる。

例: 弘は非難を受ける

(”弘”は、RECでなく、EXP)

但し、やむを得ない場合は、主語以外の位置でdual caseを使ってもよい

記述方法: REC/SPT

注2: SPT と REC

用言あるいは述語句がrecipientを期待し問題の項に授与、奪取行為にたいして許諾、拒絶などの意志が感じられるならRECとする。

c. f. SPT

例: プロジェクトに 金を出す [REC, OBJ]
 (“プロジェクト”は受け取る”意志”を暗示して
 いると考えられるので REC。)
 東京に 金を送る [REC, OBJ]

	東京に 手紙を書く	[REC, OBJ]
拡大解釈	酸素に 水素を加える	[REC, OBJ]
	醤油に 砂糖を加える	[REC, OBJ]
	この活動は文化の発展に 寄与する	[OBJ, REC]
	重税を人民に 課す	[OBJ, REC]
	預金に 老後を託す	[REC, OBJ]
	#税を所得に (=に対して、関して) 課す	[OBJ, RNG]

7.ORG (ORIGINATOR) (与え手)

RECと対

定義： 授与、奪取、伝達表現で、物、情報、権利の移動における与え手

用言： 典型的に授与動詞、発言動詞、要求動詞

ORGは、原則として、授与、奪取、発言行為にたいして許諾、拒絶などの意志が期待できる。(cf. 注2)

から	親から 貰う、受け取る、買う	[ORG]
	陽子から 聞く、習う、教わる	[ORG]
	おじいさんから 質問が有った	[ORG, OBJ]
	大蔵省から 予算をぶんどる	[ORG, OBJ]
	人から 命を奪う	[ORG, OBJ]
	オームから 羽が抜けた	[ORG, OBJ]
に	先生に 教わる、習う	[ORG]
	親に 借りる、授かる	[ORG]
	会社 to 賃上げを要求する	[ORG, OBJ] cf. 注1
	ニュースは新華社に よる	[OBJ, ORG]
	制定は 国に よる	[OBJ, ORG]
	要求は 支持者に よる	[OBJ, ORG]
より	彼女より 手紙が来る	[ORG, OBJ]
拡大解釈	5から3をひく	[ORG, OBJ]
	他人から 疑惑の目で 見られる	[ORG, CND]

ただし “見られる” はここでは一語扱い

注1: REC と ORGは、主語にたたない。主語がdual caseのばあい、他の格を主語にあてる。

例： 弘は数学を教える

(“弘” は、ORGでなく、AGT)

但し、やむを得ない場合は、主語以外の位置でdual caseを使ってもよい

記述方法： ORG/SPF

注2: SPF と ORG

用言あるいは述語句がORG(originator ないし provider)を

期待し問題の項に授与、奪取行為にたいして許諾、拒絶などの意志

が感じられるならORGとする c. f. SPF

故人から財布を奪う [ORG, OBJ]

(かつての有意志主体、+animが感じられるので、
SPFではなく、ORGとする。用言”奪う”のためか)

村から金を奪う

(単なる場所ならSPF、村人の意ならORG)

注3: 要求動詞の類例:

に...を...依頼する、請求する、頼む

8. PRT (PARTNER) (相手1)

定義: 主体またはその対象に対する相手で、主として対称用言
と共起する。典型的な対称用言のばあい、対をなす項は、互いに
同じ意味素性をもって対立している。

表層格: と、に、から (典型的に ”と” 格)

注: 対象用言とは、”会う” などその対をなす項を互いに
交換してもほぼ同じ意味を保留する用言で、下記の語句を含む。

結婚する、離婚する、会う、別れる、戦う、似ている、
....し合う、合わせる、釣り合う、衝突する、ぶつかる、

友人と/に出会う [PRT]

古いタイヤが新しいのと/に換わる [OBJ, PRT]

古いタイヤを新しいのと/に換える [OBJ, PRT]

私が彼女と/に交代する [AGT, PRT]

宏は宝くじ(弾)に当たった [OBJ, PRT]

冷たいものに触れた [PRT]

日曜が祭日に重なる [OBJ, PRT]

東京は家から遠い [OBJ, PRT]

去年の実績からほどとおい [PRT]

1メートルは、100cmとおなじだ。 [OBJ/TOP, PRT]

道路は、川に面している [OBJ, PRT]

敵に(と)対峙している [PRT]

拡張解釈

聖母マリヤに対する(時に) [PRT]

帽子が彼に似合う=彼が帽子に似合う [OBJ, PRT]

この話は、魚に(と)関係する [OBJ, PRT]

弘が、困難に直面している [OBJ, PRT]

この話は、魚に(と)関係がある [RNG/TOP, PRT, OBJ]

危機に際して [PRT]

注: PRT と ACC

ACCは任意格であるのに対して、PRTは必須格である。

伊達は徳川と、豊臣と戦った [AGT, ACC, PRT]
(徳川と協力して、豊臣に対して戦った)

9. ACC (ACCompany) 随伴

定義: " と共に、と一緒に" の意味の" 任意格

表層格: と

兄と出かける [ACC]
父と東京へ行く [ACC, SPT]
弘は徳川と、豊臣と戦った [AGT, ACC, PRT]
(徳川と協力して、豊臣に対して戦った)

注: 表層格を同じくするPRTとの機能面での差は、
その任意性にある。

10. OPP (Opponent) (相手 2)

定義: そこから遠ざかりたい相手(OPP)を表示する。

注: カラ格には、授与動詞、発言動詞のORG(REC), 場所移動動詞のSPF(SPT), 変化動詞のSRC(GOA)等がある。これらに対して、"カラ..ヲ保護する、避ける", "カラ...独立する" など、そこから逃げたり遠ざかったり、避けたりしたい相手をOPPとする。抽象的な場所に似ているが、典型的なOPPは動詞も抽象的である。

から 事故から設備を守る [OPP, OBJ]
太陽より目を保護する [OPP, OBJ]
大文字を小文字から(と)区別する [OBJ, OPP]
危険から身を避ける [OPP, OBJ]
本国から独立する [OPP]
本体から(と)独立している(部品) [OPP]
実戦から逸脱, 遊離している [OPP]
現実から逃避する [OPP]
敵から逃げる [OPP]
重大な責任から易々と免れることが.. [OPP]
赤ちゃんを病気から守る [OBJ, OPP]

下記の例文はOPPではない。

事実から原理を帰納する [SRC, OBJ]
(変化動詞に近い)
事故が彼の不注意に原因する [OBJ, SRC]
不注意がこの事故に結果する [OBJ, GOA]
敵に負ける(勝つ) [COR]
(" に劣る、より劣る " に近い)

.....

TM 時格 と SP 場所格に関する一般的注意

アスペクトの検討に、作業対象外の語を含むこともある。時格、場所格を考えると、アスペクトを参考にして決める必要がある。TMは、用言の時間的背景を表出する。従って原則的に任意格である。SPも背景を表すこともあるが、用言の意味を直接受ける必須格のことも多い。

11. TMA (TIME-AT) (時点、時)

定義：動作、状態の生起する時点を、用言の時間的背景として表出する格で、瞬間相の用言と共に起することができる。

” いつ..?” ” いつまでに...?” に対する回答となりうる。

表層に表れ易い格：ニ、デ、マデニ

に	会社が6時に終る	[OBJ, TMA]
	会社が6月に潰れた	[OBJ, TMA]
	1年以内に完成する	[TMA]
	8時に始まる	[TMA]
	8時前に始まる	[TMA]
0	父が部屋に入ってきた瞬間に、いつも本を読んでいる	[TMA, OBJ] 注3
	昨日映画を見た	[TMA, OBJ]
	出発後、雨が降った。	[TMA, OBJ]
	納入後、金を支払う	[TMA, OBJ] (cf. 注1)
	買物に行く途中、雨が降った。	[TMA, OBJ]
で	病気になって5日で死ぬ	[TMA]
	彼が35歳で死んだ	[OBJ, TMA]
	(” いつ死んだ?” の答えになりうる)	
	#二時間で到着する	[CND]
	#三日で仕上げる	[CND]
までに	この辺で考え直してみる	[TMA] (SPAではない)
	35歳までに家を買う	[TMA]

その他、” 雨が降る度に、終わり次第”

注1: ” 納入後、以降” などTMFではない

注2: 原則として一文一格とするがTMA、SPA、RNGのように例外的に同じ格を二つ以上とる格もある。

例: 宏が 今朝も 9時に 起きた [AGT, TMA, TMA]
TMA1 TMA2
(out) (inner)

注3. TMD と TMA

3-1 ” 父が部屋に入ってきた瞬間に、いつも本を読んでいた”

主文は継続相であるが、全体として”いつ？”の回答になりうる（したがって、TMA）。“瞬間”は、従属部の埋め込み文のアスペクトにより決定され、主文は意味的にも、“父が入ってきた”という事象ないし動作のたんなる背景をなしているにすぎない。

3-2 ”そのとき、雨が降っていた”

文脈により”そのとき”の内容が幅を持つかどうかによって決定しなければならない。たとえば、

弘が死んだ時、雨が降っていた [TMA,OBJ]

本を読んでいる時、雨が降っていた [TMD,OBJ]

不明な場合は、defaultとして TMAとする。

夜間読む [TMA]

12. TMF (TIME-FROM) (時、起点)

時間の起点。”いつから...？”に対する回答となりうる。

主として、継続相と共起し安い。

表層格：カラ、ヨリ

から	8時から食事する	[TMF]
	8時から始まる	[TMF]
	# 8時に始まる	[TMA](表層”=”)
より	9月より始まる	[TMF]
	# 納入後、支払う	[TMA](いつ?) 一回性
	納入後から、支払う	[TMF](いつから?)
		反復性
	<u>顔を洗って</u> から、たべる	[04TMF](いつから?)
	# <u>顔を洗った</u> あと、たべる	[TMA](いつ?)
	<u>顔を洗った</u> あとから、たべる	[TMF](いつから?)

13. TMT (TIME-TO) (時、終点)

定義：時間の終点。”いつまで...？”に対する回答となりうる格で

継続相と共起し易い。表層格：マデ

まで	5時まで働く	[TMT]
	<u>顔を洗うまでは</u> 、食べない	[TMT]
	# 就職寸前までいった	[SPT](どこまで?)
に	永遠に とどめる	[TMT]
注：下記は、“いつ”に対する答なので TMA		
	5時前に 帰る	[TMA]

14. TMD (TIME-DURATION) (時、継続)

定義：動作、状態に対する幅を持った時間を、用言の時間的背景として表出する格で、継続相の用言と共起することができる。

表層形(“間”など)で判別できる場合がおおい。瞬間相の動詞とは共起できない。”どのくらい(の期間)…?”

(how long ?) の質問に対する回答となりうる。

0	3時間勉強する	[TMD]
	<u>働いている間</u> 、禁煙した	[TMD]
	# <u>ぐずぐずしているうちに</u> 、日が暮れた	[TMA, OBJ]
	電車が揺れている時、読み続ける	[TMD]
	休みの間、本を読む	[TMD]
	#休みの間に 本を読む	[TMA]

その他

永久に、一日中、終日、etc.

注1：TMAかTMDの区別はTMAの注3を参照のこと。

注2：DGRとTMD (29 DGRの注2を参照のこと)

時の意味特徴を含む項を必須格として要求する動詞(かかる、経過する、過ぎる、経る)の場合は、その項に対する数量規定(属性値)は、DGRであり、TMDではない。

次の文で、“月日が三年も過ぎ去った”において、“月日”は“時”の意味特徴を持つ属性で、“三年”はその属性値つまり数量規定であり、継続する時間的背景をしめすTMDではない。

月日が三年も過ぎ去った	[OBJ, DGR]
(たった、過ぎた、かかった)	
時間が三時間かかる	[OBJ, DGR]

15. SPA (SPACE-AT) (場所)

定義：場所の一地点。存在、状態、動作の行われる場所で、抽象的场所も含む。”どこで(に)…”に対する答となりうる。

用言：方向性が問題とならない用言 cf. SPTの注

に	部屋にいる	[SPA]
	地球上に存在する	[SPA]
	ノートに字を書く	[SPA]
	社交界にデビューする	[SPA]
	歴史に登場する	[SPA]
	論文集が、参加費に含まれる	[OBJ, SPA]

	風圧の下に森はうめき喘ぐ	[EXP, OBJ]
	登録表に学生割引があるか	[SPA, OBJ]
	弾丸に鋼鉄をかぶせた	[SPA, OBJ]
	こんな気持ちが全ての親にある	[OBJ, SPA]
	午前に、休憩を挟む	[SPA, OBJ] (TMAでない)
で	台所で働く	[SPA]
	レストランで食事する	[SPA]
	庭で走る	[SPA]
	#庭を走る	[SPR]
	政府で行革が論じられる	[SPA, OBJ]
	その資料では、....です。	[SPA, PRD]
拡大解釈	その困難は単なる障壁に留まらなかった	[OBJ, SPA]
	商品に値段を付ける	[SPA, OBJ]
	問題に手を付ける	[SPA, OBJ]
	こちらで、やります	[SPA]

(もちろん、文脈により AGT もあり得る)

注1: "どこに?" に対する回答文は SPA にもなりうるが、
方向性が問題となっているなら、SPT とする。

注2: 原則として一文一格とするが TMA, SPA, RNG のように例外的な
ものもある。

六本木で宏はディスコで踊った [SPA, AGT, SPA]

注3. SPA or RNG

下記の下線部は RNG 範囲規定 (取り立てないし話題化) とする
("取り立て" の意味は、"は" による。)

ホテルは 母と 同室だった

("私は" という OBJ が省略されているので、"ホテル" は OBJ で
ない。この場合 "ホテル" は場所性より 範囲規定が問題
になっていると思われるので RNG とする。つまり、"ホテルに
関しては、母と同室だった")

この駅までは 150 円、あの駅は 180 円です

(SPT は、深すぎる解釈なので、RNG とする)

このあたりは、この部屋がとくに寒い

(とくに、場所性が問題になっていなければ、RNG とする。)

しかし、

このあたりは、空気が寒い

(おそらく、場所が問題になっているので、SPA)

RNG を参照のこと

注4: 自由格のことが多いが、必須格もある (例: 存在文、状態叙述文)

注5: 存在文 (ある、ない、多い、乏しい) の扱い方について、

RNGの注を参照の事。

16. SPF (SPACE-FROM) (場所、起点)

定義： 移動の起点、出発点。起点としての抽象的场所も含む。

主として ” どこから(を) ? ” の答になりうる。

用言：方向性が問題となる用言

注： ” どこから ? ” 以外に ” なにから ? ” も可能である。

を	東京を去る	[SPF]
	親元を離れる	[SPF]
	故郷を追われる	[SPF]
から	国連から脱退する	[SPF]
	東京から遠ざかる	[SPF]
	田舎から持ってくる	[SPF]
	(“くる” が32でも12でも同様)	
	# 田舎より借りてくる	[ORG]c. f. ORGの注
	窓からみる	[SPF]
	外からみえる	[SPF]
	高校から大学へ進む	[SPF, SPT]
	木から柿の実を取る	[SPF, OBJ]c. f. ORGの注
	新聞から切り取る	[SPF]
	牛乳から脱脂を分離する	[SPF, OBJ]
	肩から手を離す	[SPF, OBJ]
	# 肩に手を置く	[SPT, OBJ]
	肩から力を抜く	[SPF, OBJ]
	内容から注意をそらす	[SPF, OBJ]
	頭からアイデアを取り出す	[SPF, OBJ]
	時代から取り残される	[SPF]
より	超新星より電波が届く	[SPF]
	# 東京から遠い/に近い	[PRT]
	(方向性は問題にならない)	

SPFを取り得る類例：降りる、出る、

注1: SPA/SPF アスペクト、文脈により、方向性、ベクトルが感じられれば、SPF、動きがなく、状態表現であれば、SPA。defaultは、SPA。

注2: ORG, SRCの” から ” に対して区別がつきにくい時、SPFはdefault的に使用する。

17. SPT (SPACE-TO) (場所、終点)

定義： 移動の方向、到着点。方向、到着点としての抽象的场所も含む。

” どこへ(まで、に、を) ? ” の答えになりうる。

注：“どこに、を？”は、他の場所格にもなりうる。

用言：方向性が問題となる移動の用言

に	船は函館に 向かう	[UVA, SPT]
	ローマに 到着する	[SPT]
	屋根に 登る	[SPT]
	梯子に 登る	[SPT]
	# 梯子を 登る	[SPR]
	大学に はいる	[SPT]
	目に 感染する	[SPT]
	山麓に 退く	[SPT]
	全国に 広まる	[SPT]
	人気はXX証券に 集中した	[SPT]
	事件に 巻き込まれる	[SPT]
	国際会議に 招待する	[SPT]
	晩ご飯に 招待する	[SPT]
へ	月へ 飛行する	[SPT]
まで	駅まで 迎えに行く	[SPT, PRP]
	転職寸前まで いった	[SPT] (どこまで?)
	(抽象的ないし比喩的场所)	
を	京都を 目指す	[SPT]
	東を 向く	[SPT]

注1：SPA と SPT

アスペクト、文脈により、“方向性、ベクトル”が問題となっていれば、SPT、動きがなく、状態表現であれば、SPA。defaultは、SPAとする。

c. f.	とんぼが竿に 止まっている	[SPA]
	とんぼが竿に とまる	[SPA] (defaultとして)
	鳥が森に 住み着いている	[SPA]
	鳥が森に 住み着く	[SPA] (defaultとして)

類例：(に) 泊まる、泊める、住む、下宿する、浮く、浮かぶ、

立つ、寝る、横たわる、倒れる、座る、しゃがむ、沁みる、

傾く、並ぶ、並べる、止める、止まる、集まる、集める.... SPA

これらの用言は動作を前提とするが、主としてその結果面に表現の重点が感じられる。

注2：“バス (OBJ)に乗る”は“どこに乗る？”ではなく、“なにに乗る？”に対応する。必須の場所格。

18. SPR (SPACE-THROUGH) (場所、通過)

定義：移動における通過場所、通過経路。通過場所、通過経路としての

抽象的场所も含む。

用言：移動の用言

を	国境を 越える	[SPR]
	橋を 渡る	[SPR]
	嵐の中を 進む	[SPR]
	頭の上を 飛ぶ、飛ばす	[SPR]
	公園を 歩く、走る	[SPR]
	山を 登る	[SPR]
	門を 通過する、通る	[SPR]
	川を 泳ぐ	[SPR]
	道路を 這う、駆ける、通る	[SPR]
を（数量表現）	道路を 200メートル走る	[SPR, DGR]
	200メートルを 走る	[SPR]
	200メートルの距離を走る	[SPR]
	長い距離を走る	[SPR]
c f	200メートル 走る	[DGR] (DGRは表層格ゼロ)
	DGRの注を参照のこと	
拡大解釈	針が3時をすぎた	[SPR]
	社員が100名を超えた	[OBJ, SPR] (c. f. COR)

19. SRC (SOURCE) 状態変化の始点

GOAと対

定義：主として変化動詞（となる、する、に変化する、させる）と
共起して状態変化の始点を表す格。SRCは主語にならない

用言：変化動詞

始状態→ 対象OBJ の 状態変化→ 終状態
SRC GOA

から	助手から 講師になる	[SRC, GOA]
	ラテン語から 訳す	[SRC]
	荒廃から 立ち直る	[SRC]
	信号が赤から 変わる	[OBJ, SRC]
	寒村から 発展した（工業地帯）	[SRC]
拡大解釈	眠りから さめる	[SRC]
	混乱事態から 生まれた（妙策）	[SRC]
	派閥争いに 由来する（大混乱）	[SRC]
	混乱は文革に よる	[OBJ, SRC]

注：“拡大解釈”の用言は広い意味での変化動詞と考える。

20. GOA (GOAL) (状態変化の終点)

SRCと対

定義：主として変化動詞（となる、に変化する）と共に起して

状態変化の終点を表す格。GOAは、主語にならない。

用言：変化動詞

注1：状態変化の終点は結果とも考えられる。

始状態→ 対象OBJ の 状態変化→ 終状態

	SRC	GOA
に	芋虫が蛾に なる	[OBJ, GOA]
	宏が病気に なる	[OBJ, GOA]
	暴徒が平静に 戻る	[OBJ, GOA]
	部屋が静かに なる	[OBJ, GOA]
	宏は金持ちに なる	[OBJ, GOA]
	壁を緑に 塗る	[OBJ, GOA]

類例：

60kgに増える、増やす、減る
 30、000円に上げる、上がる、下げる
 5mmに縮む、縮める、延ばす、伸びる
 42度に暖める、温まる、冷やす、加熱する
 二つに割れた、分裂した
 大企業に発展した、生まれ変わった
 黄色に染まる

注2. GOAは埋め込み文でも連体形（終止形と同形）であれば
 ”名詞性” があると考えて、01であつかう。

	<u>甘え構造を認識するに</u> 至る	
と	信号が赤となる	[OBJ, GOA]
	..., を基本線と する	[GOA]
へ	雨が雪へ変わる	[OBJ, GOA]
	ドイツ語へ翻訳する	[GOA]
まで	社長まで出世する	[GOA]
	ビールが冷たくなる	[OBJ, 04GOA]

注3. GOAは選択、決定の動詞をふくむ。

に	レーガンを大統領に選ぶ	[OBJ, GOA]
	オリンピックはソウルに決めた	[OBJ/TOP, GOA]
	中村氏を大使に起用する	[OBJ, GOA]
	宏を職員に採用する	[OBJ, GOA]

注4: ”起用、採用”は文脈により [OBJ, ROL]の可能性有り
 形容詞+動詞(<スル、ナル、ツクル>型) 但し、04の例

	部屋は暗くなる	[OBJ/TOP, 04GOA]
	部屋を暗くする	[OBJ, 04GOA]

拡大解釈	何十年にも わたる	[GOA]
	調査が三度に わたる	[OBJ, GOA]
	三行に わたる	[GOA]

21. CAU (CAUSE) (原因、理由)

定義：原因、理由、動機を示す格、主体となりえる

主として自然・生理・社会現象、事象（動作名詞などにより表出）が
とる格。 CAUは主語となりえる。

注1：CAU と T00

T00は、利用する人が背後に存在するのにたいして、CAUは
それを利用する”人”が存在しない。T00の注を参照のこと

で	病気で悩む	[CAU]
	ジョークで笑う	[CAU]
	雪で列車が遅れる	[CAU, OBJ]
	地震で多くの人死ぬ	[CAU, OBJ]
に	知らせに驚く	[CAU]
	仕事に気が紛れる	[CAU, OBJ]
	友人関係に悩む	[CAU]
	#スポーツに飽きる	[OBJ]
	#生活に疲れる	[OBJ]
から	不注意から事故が起こる	[CAU]
が	地震が多くの人を殺す	[CAU, OBJ]
	地価高騰が社会資本の整備を遅らせる	[CAU, OBJ]

注2. “が”格をとる場合については、UVSの注を参照のこと

22. T00 (TOOL) (道具)

定義：道具、手段、方法を表す格で、背後に”道具”を使う人
（または人に相当するもの）が陰に陽に存在する。

<ヲツカフ><ニヨリ><ニヨリ>と置換可。

注1：CAUは、それを道具として使用する”人”が背後に存在しない

T00は従って、意志性の語句（+anim）と共起しやすい（そうでない
こともある）。CNDとの区別はCNDの注1を参照の事

で	フルートで演奏する	[T00]
	パソコンで通信する	[T00]
	アイスランド語で話す	[T00]
	飲み屋で生計を立てる	[T00, OBJ]
	顕微鏡で観察する	[T00]
	航空便で送る	[T00]
	酢を入れることで、甘さを抑える	[T00, OBJ]

	#使い込みで解雇する	[CAU]
が	爆弾が東京を破壊する	[T00, OBJ]
	鍵がドアを開ける	[T00, OBJ]
	船が砂利を運ぶ。	[T00, OBJ]

注2. “が” 格をとる場合については、CAU, UVSの注を参照のこと

23. MAT (MATERIAL) (材料)

定義：材料、構成要素

で	砂で城を作る	[MAT, OBJ]
	葡萄でワインをつくる	[MAT, OBJ]
	審議会は5人である	[OBJ, MAT]
から	三章から成る(論文)	[MAT]
より	アメリカ人とドイツ人より成る探検隊	[MAT, OBJ]

注： とくに02において、全体、部分の関係との区別が問題になる。

cf. 02MAT

24. MAN (MANNER) (様態)

定義：動作、過程、変化、活動、状態の様態、方法。”どの様に(how) ...するか、したか、であるか?”等に対する回答となりうる。

に	カードをアルファベット順に 調べる	[OBJ, MAN]
	やっかみ半分に、...思う	[MAN]
	無理に 我慢する	[MAN]
	なし崩しに 崩れる	[MAN]

その他の例：頑強に、不器用に、おうぎょうに、シックに、
静かに、エレガントに、注意散漫に、巧みに、

で	心細い気持ちで、生活する	[MAN]
	厳しい態度で 臨む	[MAN]

注1：形容名詞は、名詞と考えるので、下記は01に属する。

	静かに歩く	[MAN]
	きれいに着飾る	[MAN]

記述例 1 2 3 4 5
 熱心 に 読ま せ た 01MAN(1)(3)
 (意味：I encouraged him to read seriously)

1 2 3 4 5
 熱心 に 読ま せ た 01MAN(1)(4)

(意味：I made a serious effort to make him read.)

注2： 通常、状態動詞と共起しにくいですが、下記の様な例もある。

はっきり解る、見える、知っている

注3： MAN と T00

MANは 程度副詞”非常に”などで修飾できる、つまり、
 程度表示可能な用言と共起することが出来るが、T00は、程度副詞
 により修飾できない。 cf. T00

注4. こう 述べる [04MAN]
 CONの可能性もあるので、文脈で決定する。

25. CND (CONDITION) (条件)

定義：条件 命題がなりたつための制限条件を表出する格

”という条件で、...でもって、...が与えられれば”

表層格:典型的に デ

で	二時間で到着する	[CND]
	三日で仕上げる	[CND]
	測定精度は焦点深度できまる。	[OBJ, CND]
	2萬円で、どうだ?	[CND]
	それでは駄目だ	[CND, PRD]
	無料で 見る (“無料なら” のとき)	[CND]
	無料でも結構です	[CND, PRD]
	三枚で1500円です	[CND, PRD]
	これでおしまいです	[CND, PRD]
	警察の調べで、真相が分かった	[CND, OBJ]
	京都でこの店が一番高い	[CND, OBJ]
	我々の内で、彼がもっとも背が高い	[CND, RNG, OBJ]
	今月は、高速道路で事故が多い	[TMA, CND, OBJ]注5
	同時に 行われる (TMAでない)	[CND]
	自分で払う	[CND]
	...を見る <u>上</u> で、興味 深い	[CND, OBJ]
	一枚100円で買う	[CND]
	月に一度会う	[CND, DGR]
	大阪環状線で、大阪城公園駅で降りる	[CND, SPA]
から	離乳食は重湯から始まる	[OBJ, CND] “デモッテ”
	このデータから、分かった	[CND]
に	二年ごとに、交代する	[CND]
	一日隔に 喋る	[CND]
	三年ぶりに 会う	[CND]
	久しぶりに 会う	[CND]
類例： 最初に、次に、まず、一行おきに		
0	3枚100円です	[CND, PRD]
	特別の事情のないかぎり、出席する	[CND] (“かぎり”名詞)
	力の限り、走る	[CND] (“かぎり”名詞)

売れない以上、お返しします [CND]

車なら行ける [CND]

注：1. T00 と CND

CNDは意志動詞と共起しにくい。T00は行為者の意志の存在を前提とする。T00の注をみよ。

地下鉄で150円です.....CND

地下鉄で行きます.....T00

郵便では高くつきます....CND

郵便で送ります.....T00

2. したがって、CNDは可能動詞（-eru, rareru）と共起し安い

望遠鏡で見える（＝望遠鏡なら見える） CND

望遠鏡で見る T00

3. CAU と CND ...CAUの注を参照の事

CNDは、CAUのように直接、物事を引き起こすことはない

4. TMA と CND

”で”は CNDと共起しやすい。

今月は、高速道路で事故が多い [TMA, CND, OBJ]

これは、SPA(どこで...?) も当然可能であるが、単なる場所以上に強い焦点があたり、命題が成立するための条件を成していると考えられる。

5. ”最上級”の比較の範囲はCNDとする。

我々の内で、彼がもっとも背が高い [CND, RNG, OBJ]

6. CNDは optionalな”格”である。

26. PRP (PURPOSE) (目的)

定義：動作の目的、物の用途

主として、”動作名詞 + に ” ”...用”

</ヲニ>と置換可能

に	買物に出かける	[PRP]
	翻訳に英英辞典を使う	[PRP, OBJ]
	彼は <u>魚を釣り</u> にいく	[AGT/TOP, PRP]
	防音用に使う	[PRP]

類例：

防寒に適する、建設に採用する、通勤に備える、
運動に使う”

注：PRPは、埋め込み文でも連体形（終止形と同形）であれば”名詞性”
があると考えて01を使う。

何をするにも、先ず体力づくりが必要だ [01PRP, OBJ]

27. ROL (ROLE) (役割)

定義：状態、資格を表す

として 彼は議長として働く [AGT/TOP, ROL]

に <トシテ>と置換可

	お年玉に1000円あげる	[ROL, OBJ]
	御歳暮にウイスキーを贈る	[ROL, OBJ]
	私の代わりに彼が行く	[ROL, AGT]
	休憩場所に我が家を貸す	[ROL, OBJ]
	宏を職員に採用する	[OBJ, ROL]

cf. GOA

登録料は(=として)100円をもらう [ROL, OBJ]

しかし、

登録料は100円もらう [OBJ, DGR]

28. RNG (RANGE) (範囲規定、関係)

定義：用言の及ぶ範囲、関係を規定 <ニカソテ> <ニツイテ> </>

NP1とNP2の関係

が..に..型	日本が天然資源に乏しい [OBJ, RNG]	02POS
	陽子が才能に富む [OBJ, RNG]	02OAT
	彼女はフランス語に強い [OBJ/TOP, RNG]	
	#数学的に正しい。 [VIE] cf. 注1	
	自由に満ちた 顔 [RNG, 03OBJ] cf. 注2	
が..が..型	NP1は(が)NP2が...=NP1のNP2	
	象が鼻が長いこと [RNG, OBJ]	02WHL

	鼻が長い	[RNG/TOP, OBJ]	02WHL
	彼が目が大きい	[RNG, OBJ]	02WHL
	彼は顔が広い	[RNG/TOP, OBJ]	02OAT
	彼は妻が病気だ	[RNG/TOP, OBJ]	02POS
	彼は数学が得意だ	[OBJ/TOP, RNG]	
RNG型存在文	犀に角がある	[RNG, OBJ]	02WHL
	彼の言葉に刺がある	[RNG, OBJ]	02OAT
	陽子は才能がない	[RNG/TOP, OBJ]	02OAT
	日本は天然資源が乏しい	[RNG/TOP, OBJ]	02POS
	彼が子供が3人いる	[RNG, OBJ, DGR]	02POS
	人間が尾がない(こと)	[RNG, OBJ]	02WHL
	彼は子供が3人いる	[RNG/TOP, OBJ, DGR]	02POS
	英語に自信がない。	[RNG, OBJ]	
	#日本に資源がない	[SPA, OBJ]	注3
で <ニカンシテ>	...の対処で、軟弱ぶりを見せた	[RNG, OBJ]	
に	基本的に 暗い(性格)	[RNG]	
	ほかに質問があるか	[RNG, OBJ]	

注1. 判断の用言が暗示されている、“数学的に考えて、正しい”

cf. VIE

注2. 太陽で一杯の (庭) [CND]

“で”はCNDと共起しやすい。 cf. CND

注3. SPA と RNG

SPA “日本に” 明確な場所性が感じられ、通常存在文である。

この文で“日本”と“資源”の関係は02SPAである。

RNG型存在文は、場所性が疑わしく、NP1とNP2の意味は

ある種の“関係”RNGにより規定されと考えられる。

その“関係”は、上例の書き込みで WHL, POS, OATであり、

書き込んでないものは、02RNG(範囲規定、関係)となる。

下記の下線部はRNG 範囲規定(取り立てないし話題化)と思われる

(取り立ての意味は、“は”による。)

1. ホテルは 母と 同室だった

(“私は”というOBJが省略されているので、“ホテル”はOBJでない)

2. この駅までは150円、あの駅は 180円です

(SPTは、深すぎるので、RNGとする)

3. このあたりは、この部屋がとくに寒い

(とくに、場所性が問題になっていなければ、RNGとする。)

4. このあたりは、 空気が寒い

(おそらく、場所が問題になっているので、SPA)

注4. OBJ or RNG

ぼくは 鰻だ (“ぼくが食べたいのは”のとき) 範囲規定なので、
OBJではなく、RNGとする。

29. DGR (DEGREE) (程度)

定義：変化、移動、状態、動作の程度、数量規定、頻度

表層格：ゼロ

体重が3キロ増える	[OBJ, DGR]
長い距離を3キロ泳ぐ	[SPR, DGR]
険しい山道を3キロ歩く	[SPR, DGR]
ローマまで(時間が)20時間かかる	[SPT, (OBJ), DGR]
もう一回勧める	[DGR]
一度も行かない	[DGR]
歩けない ほど 疲れた	[DGR] (“ほど”：名詞のとき)

注 1. 表層格がゼロでなければ、DGRではない。

長い距離を3キロ泳ぐ	[SPR, DGR]
金を100万円儲ける	[OBJ, DGR]
体重を3キロ減らす	[OBJ, DGR]

しかし、

3キロを 泳ぐ	[SPR]
3キロの距離を 泳ぐ	[SPR]
長い距離を 泳ぐ	[SPR]
3キロの長い距離を 泳ぐ	[SPR]
100円で買う	[CND]
1枚100円で買う	[CND]

2. TMD と DGR

TMDは、動作、状態に対する継続する時間的背景を表出する格である。

三時間 泳ぐ	[TMD]
9時から12時まで 3時間泳ぐ	[TMF, TMT, TMD]
休みの間、本を 読む	[TMD]

しかし、時の意味特性を含む項を必須格として要求する動詞
(かかる、経過する、過ぎる、経る)の場合は、その項にたいする
数量表現(属性値)は、DGRであり、TMDではない。

次の文で、“月日が三年も過ぎ去った”において、“月日”
は“時”の意味特徴を持つ属性で、“三年”はその属性値つまり
数量規定であり、継続する時間的背景を示すもの(TMD)ではない。

月日が三年も過ぎ去った、たった、過ぎた、かかった	
三時間 かかる	[DGR]
時間が <u>三時間</u> かかる	[OBJ, <u>DGR</u>]

売上は、50パーセントを越える	[OBJ/TOP, COR]
社員が100名を超えた	[OBJ, COR]
体力は限界を越える	[OBJ/TOP, COR]
仕事は能力を越える	[OBJ/TOP, COR]
# 大臣は自分の立場を越える	[AGT/TOP, SPR] cf. 注
党（の議員数）は過半数を割る	[OBJ/TOP, COR]
に シロは猫に劣る	[OBJ/TOP, COR]
アメリカに勝つ	[COR]
効率が思想に優先する	[OBJ, COR]

注：CORのばあいは、比べられる対象同士が、同じ意味的レベルである、つまり、同じ意味特徴が問題になっている。

32. TOP (TOPIC) (話題提示)

定義： <は>を伴う項は、深層の格をつけ、更にTOPをつける。TOPは、他の
”格”と本質的に異なる。

は 私は頭がいたい	[EXP/TOP, OBJ]
洋子は嫁にもらったぜ	[OBJ/TOP, ROL]
その席は、おじいさんが座った	[SPA/TOP, AGT]
大阪は宏が行った	[SPT/TOP, AGT]

注：“ハ”は、他の表層格（ガ、ヲ、ニ、ヘ等）が話題提示
(topicalize) されたものとする。上例は上から順に”ガ、ヲ、ニ、
ヘ”が、それぞれ話題提示化されて”ハ”になり、元の表層格
(ガ等)は消去されたものとする。

しかし、下記の場合は、元の表層格が生きているのでTOPを付けない

私には、希望がない	[EXP, OBJ]
その席には、おじいさんが座った	[SPA, AGT]

33. NOM (NOMINATION) (命名)

定義： いわゆる目的格補語として[...ヲ...ト]型の命名動詞のト格
と 犬をポチと呼ぶ。 [OBJ, NOM]

宏は犬にポチと名前をつける [AGT/TOP, REC, NOM, OBJ]

地名を”増”という。 [OBJ, NOM]

命名動詞（とよぶ、いう、名付ける、題する、名乗る、称する etc.）

34. CON (CONTENT) (内容)

定義： a. 認識、思考、判断、発言（引用句）の内容を表す埋め込み文

注：この格は、”名詞”でなくても 01を使ってよい。

と 認識思考動詞

(人を医者) CONと認める	[CON]
(人を医者だ) CONと思う	[CON]
(アイスクリームがあるのだが) CONと聞かされた	[CON]
(富士山を日本代表) CONと決める	[CON]
c. f. アイスクリームOBJに決める	[OBJ]
彼の偉大さCON を悟る	[CON]
発言動詞	
(キャー) CONと、叫ぶ	[CON]
(腹がすいた) CONと返事する	[CON]

記述例

1	2	3	4	5	
彼	を	医者	と	認める	01CON(#3DA4#)(5)
					headは、復元

注：この埋め込み文の用言は、“だ”を復元して記述する

1	2	3	4	5	
えー、	うそ、	ほんと	と	いう	01CON(1)(5)
					01CON(2)(5)
					01CON(3)(5)

但し、下記の場合は、01ではなく 02(連体修飾)を使う。

(来てよかった) CONと(思い)OBJを	はせる	[CON, OBJ]
(彼女は案外きれいだ) CONと認識OBJをあらためる		[CON, OBJ]
(腹がすいたよ) CONと返事OBJをする		[CON, OBJ]
(彼を強い) CONと判断OBJを下す		[CON, OBJ]
を	認識思考動詞	c. f. 下注 (CON と OBJの関係)
	誰を推挙するかを考える	[CON]
	誰を推挙するか考える	[CON]
	宏が陽子に出発を命じる	[AGT, REC, CON]
0	こう 述べる	[CON]

文脈により、内容の代名詞ならCON, 様態ならMAN

連用形	宏は、(青ざめて) CON見える	[CON]
	(御無礼を恥しく) 感じる	[CON]
	(蟬の声がものうげに) 聞こえる	[CON]
ように	(早く帰ったように) 見えた	[CON]

b. その他埋め込み文

助動詞、補助動詞の埋め込み文

	(スキーがし) CONたい	[CON]
	犬に(散歩をさ) CONせる	[EXP, CON]
ように	宏が陽子に(出かける) CON(ように)命じる	[AGT, REC, CON]

注： CON と OBJの関係

CONはOBJの特殊なケースである。CONは用言にたいして具体的な内容である。

例：彼の推挙を考える

解釈1. “彼を推挙しようとする”とか“彼を推挙するかどうか考える”のように発話者の“考え”の中身、内容であれば、CONとする。つまり“かれの推挙”は、“考える”の内容そのものである

解釈2. “彼の推挙について考える”ならOBJである。つまり、彼の推挙が正しいかどうか、対象から離れて、客体として横から眺めるときはOBJである。

35. EVA (EVALUATION) (価値判断)

定義：節全体を修飾し、話者の価値判断を示す。(文修飾の連用成分)

彼は当然合格した [OBJ, EVA]

幸い彼は合格した [EVA, OBJ]

ただし、[幸い]は名詞

うまいことに、よい天気だった [EVA, OBJ]

確かに、それは正しい [EVA, OBJ]

36. CNC (CONCESSION) (譲歩)

定義：譲歩、逆節と示す連用修飾成分

抵抗したところで、勝てはしない [CNC]

日曜でも出勤する [TMA/CNC]

37. ADD (ADDITION) (追加)

定義：付け足し、追加を示す連用修飾成分

金利が下がる上に、マル優が廃止された

色が黒い上に、器量が悪い [ADD, OBJ]

注：“私も行く”の“私も”は、AGTで、ADDとしない

38. CIR (CIRCUMSDTANCE) (付帯状況)

定義：付帯状況の表示

靴下のまま、寝る。 [CIR]

ただし、“まま”は名詞

薄笑いで、聞き返す [CIR]

民衆の支持を背景に、優勢を保つ [CIR]

39. VIE (VIEWPOINT) (観点)

39. VIE (VIEWPOINT) (観点)

定義：思考動詞、発言動詞と共起し、その観点を表示する格

注：思考動詞などが、表層に表れないこともある。

より 経済的見地より、考える [VIE]

から 経済面から判断する [VIE]

関係があることから、(次のようになる) [VIE]

に 時間的に言って、 [VIE]

40. OTH (OTHER) (その他)

出来るだけ使用しない

補足 (1) <ガ>をとりうる格

	verb features	typical term features
AGT	+vol	(+anim)
UVA	+vol	(-anim)
UVS	-vol	(-anim)
OBJ	-vol	
EXP	-vol	(+anim)
TOO		(-anim)
CAU		(-anim)
RNG, etc.		

注：vol:意志性ないし制御可能性

anim:典型的に人、高等動物、有意志組織体など意志的行為の
可能な主体であるが、+anim か -animかは言語使用者が
どの様にみているかにより決まる

(2) 一文に二つ以上の格がとれるもの

原則として一文一格であるが、下記の場合は一つの文に二つ以上の
同じ格を付与する事ができる。

SPA, TMA, RNG, CND, etc.

以上

第3部 係り受け関係詳細

	目 次	page
1. AGT (AGenT)	動作主	5
2. UVA (UnVolitional Agent)	無意志動作主	5
3. UVS (UnVolitional Subject)	無意志主体	5
4. OBJ (OBJect)	対象	5
5. EXP (EXPeriencer)	経験者	5
6. ORG (ORiGinator)	与え手	5
7. REC (RECipient)	受け手	5
8. PRT (PaRTner)	相手 1	5
9. ACC (ACCompanymenT)	随伴	5
10. OPP (OPPonent)	相手 2	5
11. TMA (TiMe At)	時点	5
12. TMF (TiMe From)	時、起点	6
13. TMT (TiMe To)	時、終点	6
14. TMD (TiMe From)	時間継続	6
15. SPA (SPace At)	場所	6
16. SPF (SPace From)	場所、起点	6
17. SPT (SPace To)	場所、終点	6
18. SPR (SPace thRough)	通過場所	6
19. SRC (SouRCe)	始状態	6
20. GOA (GOAl)	終状態	6
21. CAU (CAUse)	原因、理由	6
22. TOO (TOOl)	道具、手段	7
23. MAT (MATerial)	材料構成要素	7
24. MAN (MANner)	方式	7
25. CND (CoNDition)	条件	7
26. PRP (PuRPose)	目的、用途	7
27. ROL (ROLe)	役割	8
28. RNG (RaNGe)	範囲規定	8
29. DGR (DeGRee)	度合、数量規定	8
30. PRD (PReDicatE)	陳述	9
31. COR (COmpaRison)	比較 の基準	9
32. TOP (TOPic)	話題提示	9
33. NOM (NOMination)	命名	9
34. CON (CONtent)	内容	9
35. EVA (EVAuation)	価値判断	9
36. CNC (CoNCession)	譲歩	10
37. ADD (ADDition)	追加	10

38. CIR (CIRcumstance)	付帯状況	10
39. VIE (VIEWpoint)	観点	10
40. SEL (SElection)	選択	10
41. EXM (EXaMple)	例示	10
42. POS (POSsesor)	所有者	11
43. AUT (AUTHor)	作成者	11
44. APP (APPosition)	同格	11
45. WHL (WHoLe)	全体	11
46. PAR (PART)	部分	12
47. REL (reference for RElation)	関係の基準	12
48. DLM (DeLiMiter)	限定	13
49. AVO (Attribute Value of Object)	対象属性値	14
50. ATT (ATTribute)	属性	14
51. OAT (Object of ATtribute)	属性対象	14
52. VAL (attributive VALue)	属性値	15
53. MES (MEtaphoral Substance)	比喩実体	15
54. MET (Metaphor)	比喩	15
55. GAI (GAItteki)	外格	15
56. CMP (CoMPlementizer)	補文標識	16
57. PMC (Pseudo-Complementizer)	準補文標識	17
58. INS (INSertion)	挿入	18
59. PRL (PaRaLlel)	並列	18
60. ORR (OR)	選言	18
61. CNE (ConNEctive)	連接	19
62. ADP (ADverbial Particle)	副助	19
63. OTH (OTHers)	その他	19

1. 記述のパターン

02 連体修飾

修飾部の head + 被修飾部 (名詞句) の head の意味関係

例 桜 の 花

黒い目 の 人

話している時 の 態度

幸福 からの 逃避

東京経由 の 旅

日本が勝った (という) ニュース (c.f. CON)

アメリカ訪問 の 夢

納入して からの 支払い

納入 からの 支払い

03 連体修飾

修飾部の述語の head と被修飾部の head の意味関係

01 と同じく、述語に対する項の格を記述する

一般に OX UVW (N1) (N2) において、UVW はつねに "N1" を表示するが、N1, N2 が、降べきの順序であり、N2 が 動詞類 であれば 03 を使う。

例：埋め込み文

1 2 3 4 5
[父 が くれ た 本] 030BJ (5) (3)

1 2 3 4
[さんま が 焼ける] 臭い 03GAI (4) (3)

1 2 3 4 5 6 7
[東京 を 経由 し て の] 旅 03GAI (7) (3)

1 2 3 4 5
[東京 を 経由 する] 旅 03GAI (5) (3)

形容詞、形容動詞

1 2
美しい 花 030BJ (2) (1)

1 2 3
静かな 夜 030BJ (3) (1)

注：形容詞、形容動詞の場合、陳述的用法のないものは、02 で扱う

怪訝な 顔 (をやる) 02AV0

04 述語の連用修飾

修飾部の head (名詞性なし) と被修飾部 (用言) の head の意味関係

例：ゆっくり (歩く)

05 文の連用修飾

修飾部の head (名詞性なし) と被修飾部 (文) の head の意味関係

例：あいにく、(雨だ)

あいにく、(彼はいない)

注：04か05か区別のつかないときは、04とする

06 連体修飾

修飾節の述語相当の名詞類のheadと被修飾部のheadの意味関係

一般に OX UVW (N1)(N2) において、UVWはつねに"N1"を表示するが、N1,N2が、降べきの順序であり、N2が用言性のある名詞類であるとき06を使う。但し、CMPのみは、用言性がなくても、06でよい。

(さらに06GAIに関して、GAIを参照のこと)

例：

1	2	3	4	5	6	7	06AGT(7)(5)
羽田	へ	昨日	お	着	き	の	02SPT(1)(5)
						<u>4(名詞)</u>	02TMA(3)(5)
1	2	3	4				
親子	対面	の	絵				06GAI(4)(2)

注：倒置について

倒置はすべての型式番号(01,02,03,04,05,06)について、本来の語順に戻して下記のように決定する。

例： 1 2 3

歩け よ、はやく。 04MAN(3)(1)

降べきの順なので、03になるべきところを、単なる倒置であるから、正置の語順に戻して、03でなく01とする。

他の番号についても同様。

11. コードの定義と例

下記のコードの定義は、可能な限り仕様基準書1と共通と考える。

定義は、仕様基準書1に記載していないものに限って、記述した。

従って、同仕様基準書を必ず参照の事

(注：下記の例は、文脈により読み方が異なり不適當となるばあいがありうる。)

- | | |
|---|---|
| 1. AGT 動作主 | 02 太郎 の 勉強
03 勉強した 太郎 |
| 2. UVA 無意志動作主 | 02 計算機 の 処理
03 間違って処理した 計算機 |
| 3. UVS 無意志主体 | 02 (悪貨による) 良貨 の 駆逐
03 良貨を駆逐した 悪貨 |
| 4. OBJ 対象 | 02 言語 の 観察、水 の 増加、五輪 への 参加
解析 の 重要性 (cf. 注)、
納税率 の 低さ (=低いこと)、
変化 の 激しさ (=変化が激しいこと)
税負担 の 不公平、実験値と理論値と の 関係
[7章から15章まで] の 解説
03 ナイフで切った <u>メロン</u> 、
貴方がたべた <u>の</u> は、何ですか? (c. f. CMP)
いろいろな 現象 |
| 注: "解析の重要性"における"重要性"が、
陳述つまり属性値(重要であること)を意味するなら、
OBJであり、属性("...の重要性が大きい"における
"重要性")を意味するなら、OATである。 | |
| 5. EXP 経験者 | 02 先生 の 悲しみ、人身 の 事故、自らの 体験
ホワイトカラー の 利益(受益格的EXP)
03 足を けがした 犬
06 撃退のよい方法を ご存じ の 方 |
| 6. ORG 与え手 | 02 サラ金 からの 借金
03 強盗が金を奪った 銀行
03 羽が抜けた オーム (EXPも考えられる) |
| 7. REC 受け手 | 02 民間 への 貸与
03 私が数学を教えた 生徒 |
| 8. PRT 相手1 | 02 実験値 との 一致、英米 との 戦い
03 昨日、私が会った 人 |
| 9. ACC 随伴 | 02 クラスメイト との 旅
03 アメリカへ一緒に行った 友達 |
| 10. OPP 相手2 | 02 敵 からの 逃亡、フランス からの 独立
03 弘の逃れた 敵軍 |
| 11. TMA 時点 | 02 明日 の 日本、話している時 の 態度
現在の 為替レート、
03 父が食事する 朝八時
04 まもなく、やがて、や否や |

注: TMA と CND

TMA:特定の時間、時間の前後関係など時間が問題である時

CND:特定の時間とは無関係な一般的条件

水を熱するとCND、湯気が出る

その液体を熱するとTMA、湯気が出た

12. TMF 時、起点 02 今年 からの プロジェクト、

04 帰ってから、納入してから

注:「帰って(S1)から、眠る(S2)」で、S1をS2の時間的起点とする

13. TMT 時、終点 02 今日 迄の 主流、修復前 の ダム

04 父が帰るまで、

注: 下記は時間の意味が希薄であるが表層を重視してTMTとして、

CNDとはしない

同じ温度に達するまで、(点が移動してゆく)

14. TMD 時間継続 02 5 分間 の 加熱、

[月曜から水曜迄] の 間

03 サラリーマンをやった 5 年間

15. SPA 場所 (抽象的な場所も可)

02 ワシントン の 裁判所、東京 の 父、

後ろ の 家、図書館 の 本、東 の 山、

三年三組 の 生徒、自民党 の 竹下 (所属団体)

以上 の 講演、(山の)上 の 木、南の 島

03 母の生まれた 東京

16. SPF 場所、起点 02 アメリカ からの 帰国

03 父の去った 故郷

17. SPT 場所、終点 02 空港 への 到着、上方 への 動き

03 不時着した アラスカ空港

18. SPR 通過場所 02 東京上空 の 飛行

03 通り抜けた 森

19. SRC 始状態 02 50,000円 からの 値上げ

03 そこから立ち直った 荒廃

20. GOA 終状態 02 フランス語 への 翻訳

03 水が変化した 水蒸気

04 部屋が暗く なる、する

ビールが冷たく なる

学校へ、行かなく なる

21. CAU 原因、理由 02 バイク事故 の 骨折、病気のため の 衰弱

03 私が会議を欠席した 電車事故

04 叔父が死んで、(遺産が転がり込んだ)

事故がおきたので、死んでしまったのだから、

- 05 暑い夏とあって、(客が少ない)
 ...ばかりに、...だけに、...あまりに、
22. T00 道具、手段 02 機械 の 翻訳
 03 メロンを切った ナイフ
 04 バスに乗って、(行く)
- 注：T00は、背後に”使用する”有情体の意志がある
23. MAT 材料構成要素 置き換え形式：〈かかれ〉
 02 木 の 机、データ3とデータ4 との 構成
 開会宣言、パレード、挨拶など の 開会式
 アメリカ人、フランス人など の 探検隊、
 絹の シャツ、 私達の グループ
24. MAN 方式 02 厳しい態度 での 教育
 03 データを処理した 例の方法
 04 早く、さびしく、一緒に、どんどん、すたすた、
 花のように(美しい)、注意して(運転する)、
 連続して(回転する)、苦勞して(学ぶ)、
 飛び上がって(喜ぶ)、そう(叫ぶ)
 次のように(伝える)、小鳥がさえずっている
 ように(聞こえる)、まとめて(手続きできる)、
 すぐ(怒る)
 ひとまず、思わず、わざと、
25. CND 条件 02 120km/min. での 疾走、特殊条件下 の 解析、
 (社会主義者の)中で(最も穏健)派
 04 来たとすれば、熱すると、終わったら、終わったなら
 近づくにつれて、第一に、最後に、次に
 年をとるに従って、(頭が禿げてきた)
 走れば走るほど(疲れる)
 なるべく(出席して)、今更、ひとまず(おちつく)
 新華社筋によると、(...のようだ)
 概して(アメリカ人は...) 一応、とりあえず、他方で
 同時に{TMA/コトモ7財}、もともと
 町にいては(いたずらする)...拡大解釈
- 注：TMAとの区別は、TMAを参照
- 特殊処理 1 2 3 4 5 6 7 8
 党 の なか で もっとも 穏健派 の ゴンサレス
 01CND(3)(#6DA7#)とも考えられるが、02CND(3)(6)とする、
26. PRP 目的、用途 置き換え形式 〈../タ/...〉
 02 客寄せ の 愛嬌、計算用 の データ、
 稲 の 葉、 会議 の 事務所、取引の道具、

- 断罪の斧、発展の支柱、作戦の資料、
外出の支度、薬の箱、行動の基準（”ニカンスル”
の場合はRNG）
（生き残る）ための方法論、撃退のよい方法
- 03 核兵器を使ってはならない 戦争
- 04 研究すべく 訪米した
27. ROL 役割 置き換え形式 <トジ/>
- 02 教師としての自覚、社会人の自覚
28. RNG 範囲規定 置き換え形式 <..ニカソテ..>
- 02 教育の問題、科学以外の本、パチンコ屋
の調査結果、自由化の擁護者
外国との交流計画、ツアーの参加者、数学の講義、
調査の結論、事件の責任、インフレの指標、運動の心得
ホテルのこと（”ホテルの関する事柄”の意味の時）
左翼の現状、未来への可能性
- 用言脱落型 疑惑の目（疑惑を表わす目）
抗争の引金（抗争を生む引金）
疑惑の銃弾（疑惑をおこす銃弾） 涙の生活
希望の星（希望を表す星）、政策上の共通点
- 注：RNGは、各種の関係を表現するので、03GAIのように、
N1とN2とあいだの意味を理解するには、ある種の”
推論”が必要である。
- 03 鼻の長い 象
- 04 （国防問題を）めぐって、対立する
29. DGR 程度
数量規定 02 三パーセントの値上げ、三回のデート
若干の問題、やや（右の）
三人のイタリア人、一杯の水、
一本の鉛筆、10人以上の人数
大体 1600円、一つの支障（もない）
一部の、全て、相当の、かなりの学生、
ほんの子供、まったくの素人、その程度の大きさ
おおよそ、約、ちょうど、まるまる 十日
すこし 左、もっと 北、すぐ 隣、
ずっと 昔 cf. 注1
それぞれ(8)の国、余りのショック
03 太郎が泳いだ 3キロメートル
04 うんと（食べる）
きわめて、よく、ちょっと、たいへん、とても
ちっとも、ぜんぜん、わりあい、まあまあ、比較的、

相当、だいぶ、かなり、非常に、はなはだ、とても、
 たいそう、ずいぶん、すこぶる、うんと、
 いたって、すごく、いちじるしく、全く、もっとも、
 最高に、ごく、ぜひ（お願いします）
 しばしば、めったに、たまに、いつも、
 ときどき cf. 注2、

記述例： 1 2 3
 とても 休み たい 04DGR(1)(3)

注1：DGRは 方向、時間、数量などの体言を修飾する副詞を含む。

注2：程度表現以外に、用言の意味を量化している語句、頻度表現の語句
 も含める

- | | | |
|---------|------|---|
| 30. PRD | 陳述 | 01以外は ナシ |
| 31. COR | 比較 | 03 弘が彼らより背の高い 人々 |
| 32. TOP | 話題提示 | 01以外は ナシ |
| 33. NOM | 命名 | 02 ポチ との 命名、
03 ギリシャ人が言う バルバロイ |
| 34. CON | 内容 | 02 腹が減った との 返事、アメリカへ行く という
計画、アメリカへ行った 夢、無視できない 性格、
おはよう の 一言、森田学説 の 名、
”オスカー！オスカー！”の合唱、友愛の 精神、
甘え という 言葉、プロシーディング という 形、 |

注1.：CONは、関係節に似ているが、項の順序が、昇べきの順であるので、
 名詞修飾の場合は、02である。

2. 発言、認識、思考の内容を表示する要素で、OBJの内容を表出する。

下記の例は、OBJ（名詞）に対する02CONの例：

（腹がすいた）02CONと返事OBJをする。
 （人がきれいだ）02CONと認識OBJをあらためる
 （彼を強い）02CONと判断OBJを下す。

3. いわゆる同格名詞の内容： ”という”を挿入

上例 ”アメリカへ行く（という）夢

CON を作りうる語の例

（という）話、事件、事実（”こと”はCMP）、歴史、
 記憶、くだり、可能性、恐れ、癖、習慣、性質、仕事、技術、資格
 目的、方法、必要 音、匂い、姿、形、絵、感じ、etc.

4. APPと異なり、CONの意味はこれらの語句によって、総括的にまとめられる。

- | | | |
|---------|------|--|
| 35. EVA | 価値判断 | 05 あいにく、もちろん、珍しく、たぶん、なるほど、
どうも（...らしい）、おそらく、いかにも、
あいかわらず、やっぱり、案外、まさしく
注：EVAの意味番号はは、05または 01である。 |
|---------|------|--|

36. CNC 譲歩

(逆接を含む)

04 もっと若くても（やはり登れない）

おおきいとしても、

...だって、...とも、...ところが、...とて

...けれど、...が、...くせに、

05 お忙しいでしょうが、（おいで下さい）

知っていて、（知らない顔をする）

知っているのに、（知らない顔をする）

雨だそうです、（お出かけですか）

...と思いきや、（泣き顔です）、

37. ADD 追加

cf. 仕様書IのADDの項

38. CIR 付帯状況

04 泣きながら（話す）、読みつつ（書く）

泣き泣き（話す）、持って（くる）、子供を連れて、

（家に帰る）

39. VIE 観点

02 経営面 からの 注意点

03 数学的な 正確さ

非常に経済的な 利点（ダナニ形形容名詞 cf. AV0）

40. SEL 選択

SElection

定義：選択の範囲、対象

02 新入社員 の 大半、社員の内 の 半数、

餡蜜、トコロテン、おしるこ の 何れか

政党 の 多くが、 論旨 の 一つ

全体 の 45%、学生 の 全て、 3分 の 1

記述例

1 2 3 4 5 6 7

ガラス か プラスチック か どちら か を..

02SEL(1 3)(5)

41. EXM 例示

EXaMple

定義：具体的な例を表出する。一般に、EXMは、

被修飾語句の下位概念で、より具体的である。

置き換え形式 <外エハ`..ノウナ..> <外エハ`..ヲツム..>

02 形、色など の 属性

記述例

1 2 3 4 5 6

ガラス とか プラスチック とか 危険物 を..

02EXM(1)(5) 02EXM(3)(5)

3

6

雪山に 登る とか、スキーに 出かける とか

9

様々な ウインタースポーツ に興じる

02EXM(3)(9)

02EXM(6)(9)

02 倒置の例

彼の言葉は、たとえば “ 気兼ね ” “ ひねくれる ” など

02EXM(5)(2) 02EXM(6)(2)

42. POS 所有者 定義：所有の有意志主体

置き換え形 <...ノモッテル...>

POSSessor

02 太郎 の 本、学級 の 花壇、父 の 東京
中国 の “ 4つの近代化 ”、国税庁の 調査結果、
私 の 意見、自分 の 姿、日本人 の 心理
宏 の 恋人、大統領 の 座、私 の 会社 (注2)
国鉄 の 駅、国民の 義務

注1. 所属団体は SPA 例：自民党 の 竹下

注2. “ 私 ” が従業員の 場合 も 同 じ 感 覚 で あ る

43. AUT 作成者

Author

定義：“ 作り出す ” 主体。作成者、発明者、主催者
を含み、“ 作る ” 動詞 (verb of making) が 隠 在 す る。
被修飾語句は、成果物、作品 (product) で、AUTはAGTに
類似する。

置き換え形式 <...ノツクッ...>

02 正宗 の 名刀、ピタゴラス の 定理
森永のキャラメル、笹川氏の財団、大使館のパーティ、
竹下氏の演説 (動作名詞ではなく、“ product ” の 場合)
アメリカン・エクスプレス の カード、
美和ちゃん の 料理

44. APP 同格

APPosition

定義：同じ指示物の異なる表現 (“ ツマリ ” の 意)

置き換え形式 <...ツマリ...>

02 アメリカ大統領 の レーガン

レーガン、中曽根 の 二人、田舎で町長 の 父、

拡大解釈： 喋る こと それ 自体、後 の 一割、
残り の 10人、

注：CON (内容) との区別は、CONの項を参照

45. WHL 全体

WHoLe

定義：部分に対する全体

02 彼 の 口、面盤 の 端部、犬 の 足、
サインペン の キャップ、16日 の 夕刻
党内 の 強硬派、新聞 の 声欄、この本 の
第一章、

注1：下の文の「足」と「犬」の関係は02で記述する。

記述例 02WHL(1)(6)

1 2 3 4 5 6

犬 が 怪我 し た 足

注2：全体、部分の関係はN1とN2が同じ意味的レベルにあること (cf. REL)

cf. 千代の富士 の 肩 WHL

千代の富士 の 声、歩き方、考え方 OAT (文脈による)

46. PAR 部分

定義：全体に対する部分

PART

02 青い目 の 外人、端正な顔 の 叔母さん

記述例 02PAR(3)(7)

1 2 3 4 5 6 7

全身 の 羽 が 抜け た オーム

47. REL 関係の基準 定義：相対名詞を規定する基準

reference for RELatios

注：相対名詞とは、右（左）、中（外/前/ 後ろ）

妹（弟 / 姉）のように、対立する他の

相対名詞が陽に陰に存在するものと考える。”方向”

などは、文脈により 東、西等が考えられる。

さらに、下例の”私の場合、病気のため”のごとく、

N2の意味が抽象的（文法的意味にちかい）で、N1に

大きく依存しているばあいがある。

02 家 の 前、池 の 中、私 の 兄、

首 から 下、ここ から 西、6時から 後

狐の死の 前、東京 の 方向(あたり)、私の 場合、

職員の 方、こちらの 方、叔父 の ところ、

父 の 代り、15歳の 頃、病気 の 為、

バイク事故 の 後遺症、会議の目的、差別の究極

狐が死んで 三日後、狐が死んだ 後、

走っている 最中 (の)、

その辺 の ところ、主人と 二人分 (のエネルギー)

新築して 丸二年、

記述例：

1 2 3 4 5

私 は、毛沢東 と 友人 です

02REL(3)(5)

1 2 3 4 5 6 7

爆発 と 同時 に 墜落 し た

02REL(3)(5) ”同時” は、名詞

特例 1 2

今年 いっぱい (となっている)

02REL(1)(2) ”いっぱい” は名詞

WHL と RELの境界

WHLの場合

発話時にN1とN2で、部分全体の関係が問題となっているとき。

この場合、N1とN2は共通の意味特徴を持つ。

例：（勿論、文脈により意味解釈は異なりうる）

		WHL	意味特徴
東京	の 中心部		
LOC	LOC		LOC:Location
組織	の 中心	WHL	ABST:Abstract
ABST	ABST		HUM:Human
組織	の 中心部	WHL	TIM:Time
HUM	HUM		
16日	の 夕刻	WHL	
TIM	TIM		

REL の 場合

発話時にN2のN1に対する関係が問題となっているとき。

この場合、N1とN2では別々の意味特徴が問題になっている。

例：東京 の 中心 REL

LOC RLT

健太郎 の 兄 REL

HUM RLT(関係が問題)

拡大解釈：挙げ句 の はて [02REL]

この キャンペーン を 機 (に生まれた...)[02REL]

48.DLM 限定 定義：連体詞、指示詞、疑問詞、特定、不特定限定詞等を含む限定表現

DeLiMiter 02 その 中、ここ の 所、そんな 人、
こういった 事件、このような 小細工、
こうした、どんな、あらゆる、何等の、何の、わが
何ほどの、いわゆる、くだんの、別の、他の、とんだ、
何か（食べる もの）ある種 の、何かの（用紙）
一連の、いわゆる、さる、片方の
こちらの ホテル cf. 注5

04 そんなに (大きな)

注1：いわゆる連体詞で ” 小さな、大きな ” のような属性規定の強いものはAV0である。DLMではない。

注2:DLMは程度副詞(04DGR)で修飾できない。また DLMは主として体言修飾専用である。

注3：” 一部の、全ての、一切の、すべての ” は、DGR

理由：”一部の学生は、” = ”学生は一部...”の置き換えが、可能でかつ数量を規定する語だからDGRである。

注4:不特定限定詞（何か、他の）、疑問代名詞（どんな）などが含まれるが、” どの ” SPAのように、他に所属するコードがある時は、そのコードを優先させる。” 何か ” は ” 小量 ” を

意味するとき、DGRである。

注5 こちらの ホテル (“このカタログにあるホテル”の意味で、
場所性SPAより、指示性の強い場合。

49. AV0 対象属性値 定義：属性値＋対象

Attribute Value of Object

02 二十度の 水、円筒形の 誘導体、
緑色の 液体、刺激性の 気体、80歳の
老人、人工の 肺、親友と一緒にの 旅、
洋式の トイレ、ギリシャ風の 建物、
和服姿の 先生、一円の 鉛筆、最後の 授業、
五番目の 当りくじ、つぎの 人、
5軒目の 寿司屋、5時間目の 授業、主な 客人
真の 民主主義者、最大の 協力者
ローマ・カトリックの 活動家、10代の 若者
一般の 学生、四国第二の 高峰、
重度身障者の 女性、一時しのぎの 方法

特殊処理の例（記述方法は、別紙の”head”）

[7歳から15歳まで] の 子供

[3時から5時まで] の 時間

[次から次へ] の 攻撃 (idiomの例)

注：形容詞（1）、形容名詞（31）の連体修飾は、02AV0としない。

理由：“青い空”と”空が青い”はできれば、同じコードで
表示したい。したがって、体言修飾専用の場合は、AV0をつかう。

1. 形容詞、形容名詞

青い 空、自由な 社会 030BJ

とても 青い 空 030BJ, 04DRG

静かな 海 030BJ

しかし、“怪訝な 顔、大きな 人、もんもんの日々”は、02AV0

2. ナニノ形 独得な 問題 030BJ （独得：31）

独得 の 問題 060BJ （独得：4）

類例： 凸凹、悪質、予想外

50. ATT 属性 定義：属性＋対象

ATtribute 02（二十度の）温度 の 水
（高い）地位 の 人

51. OAT 属性対象 定義：対象＋属性

Object of ATtribute 02 ボール の 色、材料 の 線形性、
国 の 人口、液体 の 条件、子供 の 名前、
水 の 温度、言葉 の 意味

解析 の 重要性 (の 度合) cf. 注1、
変化 の 激しさ (の 程度)

注：動作名詞、抽象名詞の属性については、OBJの注を参照のこと

52. VAL 属性値 定義：属性値＋属性

attributive VALue 02 二十度C の 温度、茶色 の 色
NO.2 の 地位、

53. MES 比喩実体 定義：実体＋比喩

MEtaphoral Substance 置き換え形式 <N2/ヨナN1>
02 人 の 波、荷物 の 山、

54. MET 比喩 定義：比喩＋実体

MEtathor 置き換え形式 <N1/ヨナN2>
02 炎 の 女、氷 の 唇、汗と涙 の 税金

55. GAI 外格 定義：連体修飾部（埋め込み文）の用言の格を成さない
GAIkaku 連体被修飾語句

分類

GAI1 （意味関係の理解に”推論”を必要なもの）

03 魚が焼ける 臭い

”魚が ある臭いで 焼ける”からの派生ではなく、

”魚が 焼ける ときに 発する 臭い”などと

”推論”により補って理解されるものと考えられる。

太郎が殺人を犯した 罪

赤ちゃんが笑っている 絵、

GAI2 （instantiate されれば 格となりうる）

03 太郎が休んだ 時

#ある時 太郎が 休んだ

（instantiateされると意味が異なる）

やっと歩ける 程度、 処理する 速度、原因

人を指導する 立場、方法、時、

これが答えだと言う風（具合）に

参考

格をもつ連体修飾句との区別

1. 格を持つ場合

+specific 内容がハッキリしている、具体的で下位概念

太郎が遅刻した交通事故

03CAU

太郎が遅刻した例の理由、15分、etc. 03CAU, 03DGR

2. GAI

-specific 内容が漠然としている、抽象的で上位概念

太郎が遅刻した理由、時

GAI3 （接続助詞的）

接続助詞的な名詞であるが、PMCとはしない！！

パターン

S + 形式名詞 + (格助詞) = 接続助詞的な語句

03 色が黒い 上(4) に 器量が悪い

”色が 上に 黒い”からの派生ではない。

特別に事情のない かぎり(4)、思い出す まま(4)

腰を抜かす ほど(4) 読めば読む ほど(4)

行く たび に、働いている おかげ (で)

投降した ため(うえ、ゆえ、あげく、間、内) に

GA14 Modality 的な GAI

03 出かけた はず(わけ、もの) だ

(cf. 出かけた こと がある...CMP)

出かけた もの だ

共感した もの だ

注：06GAIについて

1. 06は、用言性のある修飾部の名詞と被修飾語の関係を表示する。

署名の場所、指導の立場、お礼の必要、色黒の上、

思い出のまま、解釈の方法、歩行の程度、類似の点

通訳者の 準備 の都合上

2. 下記の例は用言的な名詞ではないが、容易に用言を想起させるので、06とする。

春風の頃、国会の場、会合の席

3. GAIは、もともと意味関係を正確に表現していない。従って、他に適当な格(例 REL, APP)があれば、それを優先的に使う。

田舎で町長の 父...APP 病死 の ほう(が)...REL

4. 用言性のない場合の考え方

06GAIが、使えないので、02REL か 02RNG の可能性が多いと

思われる。とくに ”15歳のころ” ”6月のつもり”のごとく predicativeの場合、02RELの可能性が大きいようである。

56. CMP 補文標識 定義：埋め込み文、形容詞、形容動詞を名詞化する

CoMplementizer 形式名詞

(1)CMPは名詞化の機能以外に、ほとんど語彙的意味を追加しない

(2)埋め込み文の必須格はCMPでない

(3)CMPの候補は”こと、の、ほう”

1. 埋め込み文Sの名詞化

パターン： S + こと、S + の、S + ほう

03ライオンが強い こと (は知られている)

アメリカへ行く の (は危険だ)
 ライオンは強い ほう (が よい)
 それは聞いた こと (がある) *
 わざわざ 行く こと (はない) *

彼はよく食べる との(15) こと (です) *

*注: 以下は、modalityの可能性もあるが、CMPとする

S という こと、 S という の (は)

ライオンは強い という こと (です)

(ライオンは強い との こと (です) ..PMC cf.PMC注)

2. 形容詞、形容動詞の名詞化 (1と同じこと)

S + こと S + の S という こと、の
 強い こと (は)、 強い の (は)

静かな こと (は)

強い という こと、の

(強い との こと...PMC cf.PMCの注)

注: 下記は、埋め込み文の必須格なので、定義2により、030BJであり
 CMPではない

食べたべた の は、何ですか (030BJ(の)(食べ))

"食べる" は、対象格を必須とする動詞で、"の" は
 その代名詞 (cataphoric pronounである。)

カードと言われる もの、こと、の 030BJ

(cf. カード という もの は、..PMC)

言う こと が分からない 030BJ

する こと なす こと 030BJ

私の 言う こと を聞け 030BJ

先に着いた ほう(4) が 勝ちだ 03AGT

57. PMC

定義: NPに対して、語彙的意味をあまり変更しないで、

疑似補分標識

上位の名詞句を形成する形式名詞

Pseudo-complementizer

パターン: NP + (の、という、etc.) + PMC

例:

02 甘え の こと を問題にする "とりたて"

林檎 という もの "とりたて"

甘え という こと 同上

("いう" は、用言と考えていないで、単なる形式素)

もう一つ の ほう が

これは私 の だ "所有"

私が言う ところ の こと

("ところ" は030BJ "CPM"を参照)

強い ライオン の ほう が よい

注1: 下記の” の ” は、名詞類(NP)ではないが、当面 PCM とする。

ライオンは強い との こと です

注2: 下記の ” こと ” は ” 事柄 ” に近く、単なる形式名詞ではないので、CMPでもPMCでもない。

ホテルのことを話し合う 02RNG (ホテルの関するいろいろなこと)

会議のことを聞く 02RNG

58. INS 挿入 定義: コンマ、ハイフン、括弧などにかこまれた説明、
INSertion 注釈的挿入部がかかる、直前の部分
記述例

5

8

02 茶の湯の 修行 (とても 厳し かった) が終わり..

02INS(5)(8)

59. PRL 並列 定義: 節と節の並列関係、同時性、対比、継起、列挙等
PaRaLe11 を表出する。

注: このばあい、相互の意味的關係は、等位關係で
あり、從属關係ではない。

(文脈により 04 or 05, defaultは04))

04 安く、美味しい

05 男がピアノを弾いて、女が歌った.....同時、対比
男は店に入って、コーヒーを注文した...継起 (て)
これではなくて、それだ

c. f. 男は、店にはいると、コーヒーを注文した TMA

注: PRLは、当然 2 個以上ならんでよい (例 05PRL(3)(6)(9)(12))

記述方法

1. PRLの対象を成している語が、階層を成している時

3

6

10

14

ご飯を食べ、味噌汁を飲んだり、新聞を読み、テレビを見たりする

PRL(3)(6)

PRL(10)(14)

PRL(6)(14)

2. 階層のないとき

3

6

10

14

ご飯を食べ、味噌汁を飲み、新聞を読み、テレビを見る

05PRL(3)(6)(10)(14)

60. ORR 選言 定義: 二つ以上の項から一つを選択するとき、
OR 項同士の関係

注: このばあい、相互の意味的關係は、等位關係で
あり、從属關係ではない。

04 お茶を飲むか、牛乳を飲む

試合が始まるか、始まらないかに、雨が降り出した
儲るか どうか 分からない

雨が降るのと、風が吹くのと どちらが...

注：文脈により04 or 05,defaultは04

61.CNE 接続
CoNnEctive

定義：文、節等を結ぶ接続詞的な副詞(1) および
取り立て の副詞(2) (注1) など

1. 接続的

05 一生懸命に介護したが、結局 太郎はなくなった。
ともかく、...

01 それが、いまや 影が薄くなりました 注2
その点、直己くんは気持ちが若いので、.....

2. 取り立て

02 特に、この品は値段が高い

1. 接続詞的 CNE になりうる語

結局、つまり、即ち、とにかく、逆に、つまるところ
むしろ、さらに (DGRのことある)、
もともと (CNDのこともある)

2. 取り立ての副詞的 CNE になりうる語

ただ、たんに、もっぱら、ひとえに、とくに、ことに、
とりわけ、なかんずく、おもに、たとえば、
まさに (重大だ)、たいてい (は)
まして、せいぜい、せめて、すくなくとも

注1：従来 ”取り立て” として DLMに含ませていた ”限定副詞”

”取り立ての副詞”の定義：特定の対象を同類である他の語との関係
を示しながら、そのなかから特に取り立てる語句

注2：”それが”は接続詞として機能しているが、名詞(4)扱い

なので、01であるが、将来の検討の為、例外的にここに記載した。

62.ADP 副助

定義：副助詞的名詞(4)の直前の名詞

ADverbial Particle 01 十日 ばかり 十日 くらい

注：勿論、便宜的に設けた範疇である。

63.OTH その他

OTHers

注：PRL, ORR は、修飾・被修飾の関係になくても、上記の通り作業を行う。

以上